

平成 21 年度

協働事業



# 松戸市協働事業提案制度

## 21年度協働事業が終了しました！！

市民活動団体と市の担当課が、地域課題を共有し、役割分担を図りながら、地域課題の解決に取り組みました。

	事業名	団体名 & 市の担当課
1	「地球にやさしい行動宣言」推進事業 PART2	アースコン・マツド
		環境計画課 減CO2担当室
2	子どもへの読書普及活動支援事業	松戸子どもの文化連絡会
		図書館
3	松戸子育て情報サイト「まつどあ」ホームページの管理運営事業	NPO 法人 松戸子育てさぽーとハーモニー
		子育て支援課
4	シニア交流センターにおける生涯学習実施事業	松戸市認定社会教育団体 やよい会
		高齢者福祉課
5	市民後見人養成事業(Ⅱ)	NPO 法人成年後見センターしぐなるあいず
		介護支援課・障害福祉課
6	皆でつくる根木内歴史公園Ⅱ事業	根木内歴史公園サポーター (根っ子の会)
		公園緑地課
7	キッズイノベーション事業	特定非営利活動法人 サイエンスシャワー
		生涯学習本部企画管理室
8	外国人の子ども支援事業	NPO 法人 外国人の子どものための勉強会
		市民環境本部企画管理室国際交流担当室
9	「協働イベントの作り方」講座開催事業	NPO法人松戸市民劇団
		協働推進課
10	子育て支援ネットワークづくり事業	松戸子育てフェスティバル実行委員会
		子育て支援課
11	小・中学生向け金銭教育事業	NPO 法人 おかねの楽校
		生涯学習本部 企画管理室



# 松戸市協働事業提案制度

## 21年度協働事業が終了しました！！

市民活動団体と市の担当課が、地域課題を共有し、役割分担を図りながら、地域課題の解決に取り組みました。

	事業名	団体名 & 市の担当課
1	「地球にやさしい行動宣言」推進事業 PART2	アースコン・マツド
		環境計画課 減CO2担当室
2	子どもへの読書普及活動支援事業	松戸子どもの文化連絡会
		図書館
3	松戸子育て情報サイト「まつどあ」ホームページの管理運営事業	NPO 法人 松戸子育てさぽーとハーモニー
		子育て支援課
4	シニア交流センターにおける生涯学習実施事業	松戸市認定社会教育団体 やよい会
		高齢者福祉課
5	市民後見人養成事業(Ⅱ)	NPO 法人成年後見センターしぐなるあいず
		介護支援課・障害福祉課
6	皆でつくる根木内歴史公園Ⅱ事業	根木内歴史公園サポーター(根っ子の会)
		公園緑地課
7	キッズイノベーション事業	特定非営利活動法人 サイエンスシャワー
		生涯学習本部企画管理室
8	外国人の子ども支援事業	NPO 法人 外国人の子どものための勉強会
		市民環境本部企画管理室国際交流担当室
9	「協働イベントの作り方」講座開催事業	NPO法人松戸市民劇団
		協働推進課
10	子育て支援ネットワークづくり事業	松戸子育てフェスティバル実行委員会
		子育て支援課
11	小・中学生向け金銭教育事業	NPO 法人 おかねの楽校
		生涯学習本部 企画管理室

# 活動状況報告書

1. 事業名称 地球にやさしい行動宣言推進事業 PART2

2. 実施主体

■ 団体名：アースコン・マツド(千葉県地球温暖化防止活動推進員松戸在住者)

■ 事業担当課：環境計画課減CO2担当室

3. 事業実施の役割分担

■ 団体の役割

講座やイベントの企画運営及び講師

講座やイベントを通して、地球温暖化の現状・影響・対策・暮らしの中の身近な温暖化対策や省エネ行動についての情報提供、進め方の指導・アドバイス等

教材の準備、予算の執行及び執行状況の把握管理

イベント会場での「行動宣言書」の配布回収作業

ネットワークを活かした広報活動 等

■ 担当課の役割

「行動宣言書」「エコライフシート」「エコポイントカード」の作成・配布・回収

「行動宣言者」の登録・フォロー、エコポイントシールの配布

イベント会場やパートナー講座での「行動宣言書」の配布回収作業

会場及びプレゼンテーション機器の準備 市民に対する広報活動 等

4. 事業の実施内容 ※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I イベント会場での「行動宣言書」の配布回収

日付	作業内容
4月29日	緑と花のフェスティバル会場で「行動宣言書」配布回収作業
7月24日	小学校一斉行動宣言書集計作業(議会棟会議室)
10月3日・4日	松戸まつり会場で「行動宣言書」配布回収作業

II 「まつど減CO2の日」イベント実施

日付	作業内容
5月7日	減CO2の日イベント概要打合せ(市役所会議室)
5月15日	広報まつど掲載依頼「6月15日号」
6月10日	市民会館との打合せ・講座会場及びプラネタリウムの下見
6月24日	使用機器(ビデオカメラ・プロジェクター等)の接続テスト
7月2日	講師との打合せ・使用機器の調整・実験リハーサル(市民会館)
7月7日	減CO2の日イベント実施(市民会館・松戸駅西口デッキ)
7月8日	実験機器の講師への返送作業

### Ⅲ 省エネ実践講座の実施

日付	作業内容
5月15日	広報まつど掲載依頼(6月15日号)
5月26日	講演内容、役割分担の打合せ(松戸市内)
6月20日	講演内容、役割分担の確認(市民活動サポートセンター)
6月22日	第1回省エネ実践講座実施(ちば野菊の里浄水場)
7月8日	企画会議(市民会館)
7月31日	広報まつど掲載依頼(9月1日号)
8月4日	会場下見及び見学コースの打合せ(和名ヶ谷クリンセンター)
9月16日	第2回省エネ実践講座実施(和名ヶ谷クリンセンター)
11月18日	(株)セイコーインスツル高塚事業所長と打合せ(市役所談話室)
12月16日	省エネ実践講座(出前講座)実施((株)セイコーインスツル高塚事業所)
1月15日	松戸市職員研修会基調講演実施(市民劇場)

### Ⅳ 親子の環境講座の実施

日付	作業内容
5月16日	親子の環境講座企画打合せ(アースコン・マツド5月例会)
6月1日	広報まつど掲載依頼(7月1日号→7月15日号に変更)
7月1日~8日	小学校訪問・広報活動実施(11校)
7月14日~18日	講座会場の下見及び講座資料収集等(親子の環境講座第2日目)
7月16日・8月10日	講座シナリオ打合せ及び教材準備等(親子の環境講座第4日目) (松戸市内・秋葉原電気街)
7月22日	親子の環境講座第1日目実施(市民活動サポートセンター)
7月29日	講座会場下見(21世紀の森と広場)
7月31日	親子の環境講座第2日目実施(市民活動サポートセンター)
8月7日	親子の環境講座第3日目実施(21世紀の森と広場)
8月21日	親子の環境講座第4日目実施(市民活動サポートセンター)

### Ⅴ エコクッキング教室

日付	作業内容
3月16日	広報まつど掲載依頼(4月15日号)
4月22日・23日	筍掘り・食材購入(松戸市内)
4月24日	第1回エコクッキング教室実施(京葉ガス松戸ショールーム)
7月4日	第2回エコクッキング教室企画会議(市民会館ロビー)
7月15日	広報まつど掲載依頼(8月15日号)
8月25日	食材購入(松戸市内)
8月26日	第2回エコクッキング教室実施(京葉ガス松戸ショールーム)
9月15日	広報まつど掲載依頼(10月15日号)

11月3日	食材購入(松戸市内)
11月4日	第3回エコクッキング教室実施(京葉ガス松戸ショールーム)
12月3日	第4回エコクッキング準備
12月15日	広報まつど掲載依頼(1月15日号)
1月13日	第5回エコクッキング教室打合せ(松戸2丁目町会会議室)
1月28日	食材購入(松戸市内)
1月29日	第4回エコクッキング教室実施(市民会館)
2月24日	第5回エコクッキング打合せ(松戸2丁目町会会議室)
2月26日	食材購入(松戸市内)
2月27日	第5回エコクッキング教室実施(市民会館)

#### VI マイバッグ自作教室実施

日付	作業内容
4月15日	広報まつど掲載依頼(5月15日号)
5月6日	マイバッグ材料準備(松戸市内)
5月21日	第1回マイバッグ自作教室実施(新松戸市民センター)
1月15日	広報まつど掲載依頼(2月15日号)
3月2日	マイバッグ材料準備(松戸市内)
3月3日	第2回マイバッグ自作教室実施(ゆうまつど)

#### VII 出前講座の実施

日付	作業内容
4月7日～5月15日	出前講座広報活動の実施(市内小学校17校訪問・PR)
6月23日・9月3日・9月29日	和名ヶ谷小学校訪問・先生と実施計画打合せ
6月26日	小学校出前講座企画会議(市役所会議室)
7月15日・9月3日	河原塚小学校訪問・先生と実施計画打合せ
9月4日	河原塚小学校出前講座プログラム内部打合せ(松戸市内)
9月15日	河原塚小学校4年生出前講座実施
11月10日	大橋小学校訪問・先生と実施計画打合せ
11月16日	和名ヶ谷小学校5年生出前講座実施
1月14日	和名ヶ谷小学校訪問・先生と実施計画打合せ
1月20日	大橋小学校6年生出前講座実施
1月27日	和名ヶ谷小学校3年生出前講座実施

#### VIII 成人環境講座の実施

日付	作業内容
10月～11月	広報活動：広報まつど掲載依頼(11月15日号) 行動宣言登録者への講座案内発送

12月5日	成人環境講座1日目実施(市民会館)
12月12日	成人環境講座2日目実施(市民会館)

IX 事業の調査企画・その他

日付	作業内容
6月2日	千葉市エコリーダー養成講座の調査(千葉県環境財団)
6月18日	新宿区エコリーダー養成講座の調査(新宿区エコギャラリー)
9月24日	21年度協働事業中間振り返り会実施(市役所会議室)
3月19日	21年度協働事業振り返り会実施(市役所会議室)

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について：どの程度達成されたのかを記載してください。

①計画・設定した各種事業について

◇ 講座・イベント等の実施結果(括弧内は年初設定回数)

イベント会場での行動宣言書の配布回収：3回(2回以上)

まつど減CO2の日のイベント開催：1回(1回)

省エネ実践講座：4回(2回以上) 親子の環境講座4回(4回)

エコクッキング教室：5回(4回) マイバッグ自作教室2回(2回)

小学校出前講座：4回(2回以上) 成人環境講座：2回(1回)

合計 25回(18回以上)

◇ 「事業の調査及び企画」について

「団体行動宣言制度の検討」・「宣言者を活かすしくみの検討」等調査・企画事業は、調査結果を踏まえ、22年度事業計画を作成した。

◇ 「省エネ調査」事業は、有効な実施方法が見当たらず、協議のうえ中止することとした。

労力換算額、経費支出金額ともに、全体予算への影響はないレベルであった。

②「地球にやさしい行動宣言」の回収等

各事業別参加者数、参加率、宣言者数

事業名	募集数	参加数	参加率%	A宣言	B宣言
イベント会場の宣言書配布回収	—	—	—	24	1,391
減CO2の日一斉行動宣言	—	—	—	—	6,882
減CO2の日イベント(1回)	70	70	100	45	22
省エネ実践講座(公募型・2回)	50	48	96	23	—
親子の環境講座(4回)	140	55	40	6	—
エコクッキング教室(5回)	160	130	81	62	26
マイバッグ自作教室(2回)	40	29	73	16	—
成人環境講座(2回)	80	63	79	5	—
合計	540	395	73	181	8321
省エネ実践講座(非公募・2回)	189	189	—	—	—
小学校出前講座(4回)	263	263	—	—	—

その他事業	—	—	—	301	265
総合計	992	847	85	482	8586

### ③21年度実施結果のまとめ

#### ◇ 講座、イベントの実施回数等

実施回数：実施回数 25 回(年初計画 18 回以上)で、年初計画を上回る結果であった。

これは、省エネ講座、エコクッキング教室、小学校出前講座等を、団体や小学校からの開催要望を受けて実施したもので、年初の計画を上回り、広報活動の効果と協働事業の認知度が上がってきた結果であろう。

参加率：公募事業は全体で73%。親子の環境講座40%。その他85%であった。

親子の環境講座の参加率が低いのは、開催場所・「広報まつど」掲載時期等が影響したものと思われるが、講座の内容を魅力あるものにすることもあわせて次年度の課題である。その他の公募事業は参加率85%で、ますますの結果であった。

市職員研修会で、「省エネに関する基調講演」を実施する機会を得たことは、21年度の一つの収穫であった。これを契機として、本来市民の模範となるべき市職員の「行動宣言」の率先垂範を期待したい。また、企業内の学習会で「省エネ講座」を実施したが、これも今後の講座展開の参考になるものである。

#### ◇ 「行動宣言」数と「行動宣言」によるCO2排出削減量

A宣言+B宣言=9068枚(年初計画3000枚・前年度1670枚)

21年度のCO2排出削減量=165.6ト/年(標準的家庭31軒分)

◇A宣言：「行動宣言数」は全体としては大幅増であったが、A宣言は、残念ながら目標達成率は48%であった。学習会等での宣言率が低かったこと(20年度60%・21年度45%)、既宣言者の講座参加比率が増加したことが原因である。また、減CO2担当室で実施する「パートナー講座」での宣言者が前年より少なかったことも影響している。新たなテーマ等講座内容を魅力あるものにすることで新規の受講層を開拓するとともに、既宣言者には宣言内容のレベルアップを促す等の対策が必要である。

◇B宣言：回収数8586枚で、前年比大幅増となった(20年度629枚)。「まつど減CO2の日」を中心にした、小学校を通しての一斉行動宣言6882枚(児童数の約30%の宣言)を得たことが最大の要因である。また、各種イベントでの行動宣言の配布回収数も昨年度を上回る1439枚の実績であり、温暖化問題等に関する一般的な関心が高まっていることが伺える。小学校での出前講座においても、児童は旺盛な好奇心と素直な感受性を示しており、環境学習を通して、子ども達に正しい情報を分りやすく伝えることは、学校教育の一環としても非常に重要であることを再認識した。

#### ◇市民への告知

コアテレビの放映6回。A・B宣言合計9068枚。「行動宣言を市民の身近なものにする」という目的に向けて一歩前進できたと思う。

### ④協働事業のあり方について

◇アースコン・マツドと減CO2担当室との協働事業は、良好な関係で展開できた。

◇個別事業の中で、「協働事業」としての線引きが問題になるケースがあった。「協働事業」の



原点に立ち、議論を深め、知恵を集め、その解決策を追求することによって、「パートナーシップ」の実をあげることが出来ると思う。

(2) 事業課題の解決について：※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

①「行動宣言者」の急増を目指して「行動宣言」の多様化を図ること。

- ◇「行動宣言」の急増をはかるべく、イベント会場での配布回収に注力し、また、まつど減CO<sub>2</sub>の日を中心に、小学校一斉行動宣言を実施した。結果は前頁に述べたとおりである。
- ◇団体行動宣言は、「事業者の行動宣言」は、市の事業として制度化され実施されている(宣言事業者数30社)。「小学校宣言制度」は、22年度において試行の計画である。
- ◇行動宣言のインセンティブづくりのため、21年度で「減CO<sub>2</sub>ポイント制度」をテスト導入、22年度において、魅力ある制度の構築を進める計画である。

②学習会の内容・開催回数を見直し、広報活動を強化して、効率的な事業展開を図ること。

- ◇環境家計簿・省エネ講習会の集客力のアップ：前年度の「環境家計簿・省エネ講習」「省エネ家電商品買い替え講座」を統合し、「野菊の里浄水場」「和名ヶ谷クリンセンター」等の施設見学と「省エネの学習会」をセットにした「省エネ実践講座」を開催した。募集人員に対する応募率は96%(48/50)で、参加率はアップした。ただ、交通アクセス面で募集人員に限りがあり、受講者の大幅アップにはならなかった。魅力ある施設選定とあわせて、公共交通機関の併用等も検討し、22年度も継続実施する計画である。また、公募型ではなく、出前講座としての「省エネ実践講座」を、選択肢の一つとして検討したい。
- ◇広報活動の強化：小学校向け広報活動を展開した。一步を踏み出した段階に過ぎないが、小学校とのパイプ作りは、今後も引き続き着実に進めていく予定である。

③「行動宣言者」のステップアップ対策。

「よりレベルの高い省エネ行動」にチャレンジするきっかけづくりのため、「行動宣言者」を中心に「省エネルギースキルアップ講座」を、21年12月に実施した。その効果については、まだ把握出来ていないが、熱心な意見交換がなされ、高い問題意識や行動力を備えた参加者も多かった。今後はこれらの人々に普及活動に参加してもらえる条件整備を進めたい。

④事務処理体制の整備

行動宣言書の回収・集計、宣言者の登録、フォロー等の事務処理は、個人情報管理の点から、「減CO<sub>2</sub>担当室」の担当業務であるが、宣言者や登録者が増加し大幅に業務が増えた時点では、一部作業の外部委託やアルバイトの活用等により、市職員の負担軽減を図ることも必要ではないかと思う。

6. 今後の事業展開

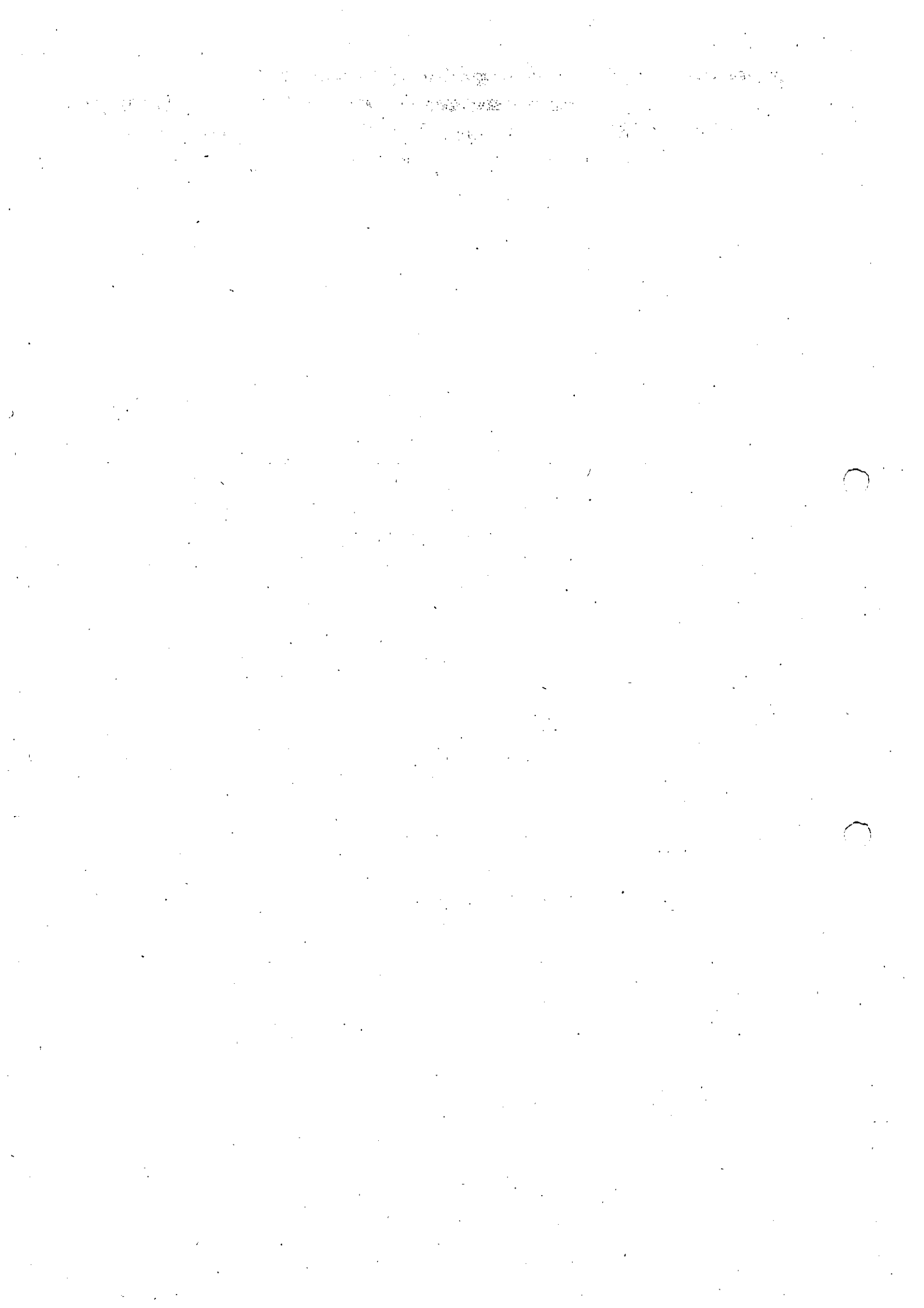
地球温暖化防止は、持続的な取り組みが必要な課題である。「まつど減CO<sub>2</sub>大作戦」の戦略課題の一つである、「地球にやさしい行動宣言」制度を、さらに市民の身近なものとし、定着させていくことが必要である。そのためには、

- ①「きっかけづくり」：より多くの市民に「行動宣言」をしてもらえる場の提供
- ②「活動継続の楽しみづくり」：魅力ある「減CO<sub>2</sub>ポイント制度」の構築
- ③「活動の仲間づくり」：意欲ある市民に普及活動への参加を促し、各種団体との情報交換や

協力関係を深めていくこと等の対策を進めることが必要である。

アースコン・マツドは、これまでの事業展開の中で得た、教材やノウハウ、個人及び団体としてパワーを活かし、松戸市減CO2担当室との連携のもと、これらの目標達成に向けて、今後ともアグレッシブな活動を展開していく所存である。

以上



## 収支決算書

### 【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	事業収入	¥ 91,000	¥ 119,600	¥ 28,600	
	会費より寄付金	¥ 29,000	¥ 34,329	¥ 5,329	
	自己資金合計額 (a)	¥ 120,000	¥ 153,929	¥ 33,929	
	労力換算額 (b)	¥ 286,500	¥ 510,000	¥ 223,500	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 380,000	¥ 380,000	¥ -	
資金合計額 (d) (a+c)		¥ 500,000	¥ 533,929	¥ 33,929	

### 【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の 交付対象経費	教材購入費	¥ 200,000	¥ 220,670	¥ 20,670	
	報酬費	¥ 90,000	¥ 85,000	¥ -5,000	
	印刷製本費	¥ 35,000	¥ 37,930	¥ 2,930	
	消耗品費	¥ 20,000	¥ 27,939	¥ 7,939	
	使用料	¥ -	¥ 5,140	¥ 5,140	
	賃借料	¥ 20,000	¥ 5,360	¥ -14,640	
	通信費	¥ 20,000	¥ 23,340	¥ 3,340	
	保険料	¥ 45,000	¥ 27,750	¥ -17,250	
				¥ -	
	対象となる経費合計額 (e)	¥ 430,000	¥ 433,129	¥ 3,129	
その他経費	スタッフ交通費	¥ 70,000	¥ 100,800	¥ 30,800	
		¥ -		¥ -	
	その他経費合計額 (f)	¥ 70,000	¥ 100,800	¥ 30,800	
事業費 (g) (e+f)		¥ 500,000	¥ 533,929	¥ 33,929	

#### 【負担金額(C)チェック項目】

¥ 380,000

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内  $433,129 \times 0.9 = 389,816 > 380,000$
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること OK
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること OK

精算額

¥

-

団体名 アースコン・マツド

代表 武田 勝



## 収支内訳書の補足

## 【事業費の支出額の予算と実績】

科 目			予 算		実 績	
科目	内 訳	コード	予算計	内訳	実績計	内訳
1 教材購入費			200,000		220,670	
	①省エネ実践講座	11		35,000	34,020	省エネナビ
	②親子の環境講座	12		30,000	26,038	LED電球等
	③楽しいエコ講座	13		68,000	101,341	食材費・エプロン代等
	④成人環境講座	14		5,000	7,858	教材(DVD, 書籍他)
	⑤減CO2の日イベント	15		2,000	0	
	⑥その他	16		60,000	51,413	ソーラークッカー等
2 報酬費			90,000		85,000	
	①省エネ実践講座	21		0	0	
	②親子の環境講座	22		20,000	18,000	講師3名(延べ)
	③楽しいエコ講座	23		0	0	
	④成人環境講座	24		30,000	30,000	講師3名(延べ)
	⑤減CO2の日イベント	25		30,000	35,000	林友直氏
	⑥その他	26		10,000	2,000	協力謝礼品
3 印刷製本費			35,000		37,930	
	①省エネ実践講座	31		2,000	670	コピー代
	②親子の環境講座	32		2,000	1,320	コピー代
	③楽しいエコ講座	33		2,000	0	
	④成人環境講座	34		2,000	0	
	⑤減CO2の日イベント	35		2,000	3,140	ポスター作成費等
	⑥その他	36		25,000	32,800	写真・パンフ印刷費等
4 消耗品費			20,000		27,939	
	①省エネ実践講座	41		1,000	0	
	②親子の環境講座	42		4,000	7,545	常備薬・修了証用紙代等
	③楽しいエコ講座	43		1,000	0	
	④成人環境講座	44		1,000	1,797	
	⑤減CO2の日イベント	45		1,000	0	
	⑥その他	46		12,000	18,597	インク代等
5 委託料		50	0	0		
6 使用料		60	0	5,140	テント小屋等使用料	
7 賃借料		70	20,000	5,360	マシン等レンタル料	
8 通信費		80	20,000	23,340	切手代・宅急便代	
9 保険料		90	45,000	27,750	ボランティア保険料	
合計			430,000		433,129	

## 収支内訳書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
事業収入	¥ 119,600	¥91,700	エコクッキング教室
		¥15,000	マイバッグ自作教室
		¥12,900	成人環境講座
会費より寄付金	¥ 34,329		
自己資金合計額	¥ 153,929		
市負担金額	¥ 380,000		
収入合計額	¥ 533,929		

## 【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の交付対象経費	教材購入品費	¥ 220,670	補足参照	添付の教材購入明細書で説明
	報酬費	¥ 85,000	同上	添付の報酬費明細書で説明
	印刷製本費	¥ 37,930	同上	添付の印刷製本費明細書で説明
	消耗品費	¥ 27,939	同上	添付の消耗品費明細書説明
	賃借料	¥ 5,360	同上	添付の賃借料明細書で説明
	使用料	¥ 5,140	同上	添付の使用料明細書で説明
	通信費	¥ 23,340	同上	添付の通信費明細書で説明
	保険料	¥ 27,750	同上	添付の保険料明細書で説明
	対象となる経費合計額	¥ 433,129		
その他経費	スタッフ交通費	¥ 100,800		
	その他経費合計額	¥ 100,800		
支出合計額	¥ 533,929			

教材購入費の内訳

用途	対象事業	予算		決算		差異 B-A
		品名	金額A	金額B	品名	
自然エネルギーの学習	親子の環境学習 エコッキング教室 イベント展示 小計	ソーラークーラー	30,000	36,203	ソーラークーラー(付属品を含む)	723
		同上 付属品(鍋・ケトル等)	7,000			
		ソーラーカー模型2台	10,000	11,520	ソーラーカー模型4台	
省エネ・エコライフシートの学習	省エネ実践講座 親子の環境学習 イベント展示小計	省エネナビ1台	35,000	34,020	省エネナビ1台	1,230
		エコワット 2600円×5台	13,000	15,210	パワーくん第2号(変更)	
			48,000	49,230		
省エネ調理実習	エコッキング教室	土鍋4個・圧力鍋1個	20,000	19,249	土鍋4、圧力鍋1、フライパン等	-751
調理実習教材	エコッキング教室	材料 600円×80名	48,000	60,042	材料129名分(受講者161%)	12,042
環境学習教材	親子の環境学習 成人環境講座 小計	工作材料700円×30セット	21,000	22,050	エコッキング用エプロン(変更)	7,426
		教本・実験器具・環境ゲーム等	11,000	14,518	親子の環境講座実験材料等	
		教本・展示材料等	5,000	7,858	教材(DVD、書籍、等)	
合計			200,000	220,670		20,670

※主要な変更 ①イベントや各種講座で、パワーくん(人力発電機)の使用頻度が高く、増台が必要となった。

②エコッキング講師用エプロンが必要となり、購入した。

# 活動状況報告書

1. 事業名称 子どもへの読書普及活動支援事業

2. 実施主体

■ 団体名: 松戸子どもの文化連絡会

■ 事業担当課: 図書館

3. 事業実施の役割分担

■ 団体の役割

- ・ 「実践連続講座」の企画・開催
- ・ 『子ども読書フェスタ』の企画・開催、実行委員会の運営

■ 担当課の役割

- ・ 「実践連続講座」の企画・開催への支援（講師紹介等）
- ・ 『子ども読書フェスタ』の企画への支援（講師紹介、アンケート調査協力等）
- ・ 会場の確保、広報活動、情報提供、負担金

4. 事業の実施内容

## I 「やってみよう！おはなし会 実践連続講座」の開催

- 4月16日 17:00～19:00 第1回運営委員会（実践連続講座、聞き取り調査等について）
- 4月28日 10:00～12:00 第1回実行委員会（実践連続講座、聞き取り調査等について）
- 5月14日 17:00～19:30 第2回運営委員会（実践連続講座準備、報告会等について）
- 5月22日 10:30～12:00 事業PR冊子・模造紙提出、打合せ
- 5月28日 13:30～16:00 第2回実行委員会（実践連続講座準備、報告会等について）
- 5月29日 9:30～12:00 実践連続講座配布資料・受付簿作成
- 5月30日 13:00～15:30 協働事業報告会、ブースでのPR
- 5月31日～6月3日 実践連続講座資料作成
- 6月4日 15:30～16:30 資料印刷
- 6月5日 12:30～15:30 実践連続講座1「赤ちゃんへの読み聞かせ」開催
- 6月5日 15:30～16:30 第3回運営委員会（第1回の講座反省、次回へ向けて、読書フェスタ講師選定）
- 6月7日～6月9日 実践連続講座資料作成
- 6月12日 9:30～16:00 実践連続講座2（幼児対象）、講座3（小学生対象）開催
- 6月13日～6月18日 実践連続講座資料作成
- 6月19日 9:30～16:30 実践連続講座4（異年齢対象）、講座5（まとめ）開催  
第3回実行委員会（連続講座の反省、まとめ）

## II 「子ども読書フェスタ」の開催

- 7月9日 17:30～20:00 第4回運営委員会（連続講座の報告書、聞き取り調査、読書フェスタ）
- 7月14日 13:30～15:00 第4回実行委員会（連続講座の報告書、聞き取り調査、読書フェスタ）
- 8月19日 15:00～16:00 子ども読書フェスタ講演会講師（西巻茅子氏顔合わせ）
- 8月27日 17:30～19:30 第5回運営委員会（読書フェスタ準備について）
- 9月1日 13:00～15:00 第5回実行委員会（読書フェスタ準備、打合せ、聞き取り調査結果）



- 9月 1日 15:00～16:30 第6回運営委員会(聞き取り調査まとめ、進捗状況報告書について)
- 9月 10日 13:00～15:00 振り返りの会議
- 9月 10日 15:00～17:00 第7回運営委員会
- 10月 6日 13:30～15:30 第6回実行委員会
- 10月 6日～11月 12日 「子ども読書フェスタ」へ向けての諸準備、
- 10月 31日 10:00～12:00 第8回運営委員会(予算、講演会申し込み状況等)
- 11月 7日～12日 図書館本館おはなしの部屋で、ミニおはなし会(9日を除く毎日)
- 11月 10日 13:00～15:00 第7回実行委員会(「子ども読書フェスタ」へ向けて最終打合せ)
- 11月 13日 17:00～20:30 「子ども読書フェスタ」前日準備
- 11月 14日 9:00～16:30 「子ども読書フェスタ」開催・後片付け
- 11月 26日 17:00～19:00 第9回運営委員会(「子ども読書フェスタ」まとめ)
- 12月 1日 13:00～15:00 第8回実行委員会(「子ども読書フェスタ」まとめ)
- 1月 9日 10:00～12:00 第10回運営委員会(協働事業まとめ)
- 1月 15日 13:00～15:00 第9回実行委員会(協働事業まとめ)
- 2月 2日 13:00～15:00 第11回運営委員会(協働事業まとめ)

## 5. 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

「子どもの読書活動を推進する」ためにこの事業を行なった。子どもを本好きにするには、子どもと本を結びつけてくれる人が不可欠である。家庭や地域、幼稚園や保育所、学校など子どものまわりにいるおとなが、意識的に子どもに本を手渡すように取り組むためのきっかけとして、以下のような内容の事業を行なった。

#### ① 子どもへの読書普及団体・個人の把握、ヒアリング調査(6月～7月)

昨年のアンケート調査を元に学校以外の地域で活動している団体に絞込み、ヒアリング調査を行った。調査の結果を一覧表にまとめ、活動場所や曜日などを記載し、子育て中の親子が自分の住んでいる地域でのおはなし会などに参加できるよう、情報提供を行なうことができた。

#### ② 「やってみよう! おはなし会」実践連続講座【全5回】

読み聞かせやおはなし会を行う団体や個人、これからおはなし会をやってみたいという人たちへの実践的な研修の場として、実践連続講座を5回行った。5回通しての受講者、自分の希望する講座のみの受講者など、様々であったが、どの講座も20～40名の参加者があり、盛況だった。

- 実践連続講座1 「赤ちゃんへのおはなし会」(6/5 午後)
- 実践連続講座2 「幼児へのおはなし会」(6/12 午前)
- 実践連続講座3 「小学生へのおはなし会」(6/12 午後)
- 実践連続講座4 「異年齢へのおはなし会」(6/19 午前)
- 実践連続講座5 「まとめ」(6/19 午後)

参加者 延べ 133 名 講座資料 304 冊【1 冊 200 円】販売 自己資金 60,800 円

- ・予定していたとおりの参加者があり、協働事業の自己資金も調達できた。
- ・昨年度のアンケート調査の結果から、絵本の選び方、プログラムの組み方が難しいという問題が出されていたが、年齢別、テーマ別、季節別のおすすめ絵本の資料を作ることで、要望に応えることができた。
- ・実際に見本としておはなし会を行ったので、参加者には大いに参考になり、好評だった。これからの活動にぜひ活かしてもらいたい。

### ③「子ども読書フェスタ」の開催

6 月に開催した「やってみよう！ おはなし会」実践連続講座の実績を踏まえて、子育て中の保護者（親）や子どもの教育、保育に係わっている大人への子どもの読書普及の大切さのアピールと読書普及活動をしている団体・個人の交流、実践の場として、「子ども読書フェスタ」を開催した。

- A. ミニおはなし会の開催（6 日間）参加者数 おとな 29 人 子ども 32 人 計 61 人  
別紙 一覧表参照
  - B. 優良図書の展示（おすすめ絵本の展示）
  - C. ミニ講座の開催（年齢別対象のおすすめ絵本の紹介）2 回開催 参加者 30 人
  - D. 講演会「子どもと本を結びつけるために—絵本を考える—」西巻茅子氏（絵本作家）
  - E. 子どもへの読書普及活動団体の交流コーナー  
「松戸市内の子どもへの読書普及活動団体一覧」の配布  
各団体の活動ちらし、パンフレット等の配布
- ★ 11 月 14 日（土）「子ども読書フェスタ」当日の参加者数（B～E 含む）  
おとな 126 人 子ども 12 人 計 138 人

①～③の事業を通して、松戸市内における「子どもへの読書普及活動」が、以前よりも活発に行なわれるようになった。

### (2) 事業課題の解決について

昨年度の「子どもへの読書普及の実態調査」から、子どもへの読書普及活動をしている団体・個人が抱えている悩みは、大きく次の 2 点であるということが、わかった。

- ① 読み聞かせ、おはなし会を行う際のプログラム及び選書が難しい。
- ② 活動をしていく上での人材、後継者が不足している。

これらの問題を解決するために、ヒアリング調査、実践連続講座、「子ども読書フェスタ」等を開催した。特に実践連続講座の開催によって、①の課題は、概ね達成されたのではないと思われる。また、②の課題についても、講座受講者や「子ども読書フェスタ」の参加者の中から、問題意識を持って係わる人が今後出てくるであろうと期待している。

## 6. 今後の事業展開

松戸市立図書館との協働事業は、今回で終わりとなるが、これらの協働事業の成果を図書館の「幼児・児童への読書普及事業」へ反映させ、活かして行ってほしい。また、市内の子どもへの読書普及活動をしている団体・個人の交流の場を設定し、図書館が中心的な役割を果たしながら、これらの団体・個人との連携を深め、地域ぐるみでの「子どもへの読書普及活動」が推進されることを望む。

## 収支決算書

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	実践連続講座資料代	¥ 50,000	¥ 60,400	¥ 10,400	
	子ども読書フェスタ資料販売	¥ 24,000	¥ 8,800	¥ -15,200	
	子どもの文化連絡会負担		¥ 547		
	自己資金合計額 (a)	¥ 74,000	¥ 69,747	¥ -4,253	/
	労力換算額 (b)	¥ 246,000	¥ 243,250	¥ -2,750	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 160,400	¥ 160,400	¥ -	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 234,400	¥ 230,147		/

### 【事業費の支出額 (支出)】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	「実践連続講座」ちらし	¥ 10,000	¥ 8,980	¥ 1,020	
	「実践連続講座」資料作成	¥ 4,000	¥ 5,071	¥ -1,071	
	「子ども読書フェスタ」ちらし作成	¥ 30,000	¥ 29,484	¥ 516	
	「子ども読書フェスタ」講師謝金	¥ 90,000	¥ 95,000	¥ -5,000	講演会、三二講座
	イベント保険	¥ 10,000	¥ 3,600	¥ 6,400	
	消耗品費	¥ 20,000	¥ 31,352	¥ -11,352	
	通信運搬費	¥ 20,000	¥ 11,980	¥ 8,020	
		対象となる経費合計額 (e)	¥ 184,000	¥ 185,467	¥ 1,467
その他経費	実行委員交通費	¥ 50,400	¥ 44,680	¥ 5,720	
	その他経費合計額 (f)	¥ 50,400	¥ 44,680	¥ 5,720	/
	事業費 (g) (e+f)	¥ 234,400	¥ 230,147	¥ 4,253	/

### 【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 4 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額                      ¥                      -
---

団体名                      松戸子どもの文化連絡会  
 代表者氏名                      崎野 佳子



## 収支内訳書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
実践連続講座資料代	¥ 60,400	200円×302冊	年齢別、季節別おすすめ絵本のリスト・おはなし会の持ち方等の冊子
子ども読書フェスタ資料販売	¥ 8,800	200円×44冊	同上
子どもの文化連絡会負担	¥ 547		
自己資金合計額	¥ 69,747		
市負担金額	¥ 160,400		
収入合計額	¥ 230,147		

## 【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の交付対象経費	1 「実践連続講座」 ちらし	¥ 8,980	紙代	
	2 「実践講座」 資料作成	¥ 5,074	ファイル、コピー代	
	3 「子ども読書フェスタ」 ちらし	¥ 29,484	紙代20,223 印刷マスター代9,261	
	4 「子ども読書フェスタ」 講師謝金	¥ 95,000	講演会55,000 ミニ講座40,000	講演会 西巻茅子氏（絵本作家） ミニ講座2回 滝川幸子氏
	5 イベント保険	¥ 3,600		
	6 消耗品費	¥ 31,352		パソコンインク代、A4紙代、講演会花代、他
	7 通信運搬費	¥ 11,980		「子ども読書フェスタ」案内状、電話代等
対象となる経費合計額	¥ 185,467			
その他経費	実行委員交通費	¥ 44,680	12,240/12,160/5,040/ 7,680/5,880/1,680	交通費6人分
	その他経費合計額	¥ 44,680		
支出合計額	¥ 230,147			

# 活動状況報告書

1. 事業名称 松戸子育て情報サイト「まつどあ」ホームページの  
管理運営事業

2. 実施主体

- 団体名： 特定非営利活動法人\_松戸子育てさぽーとハーモニー
- 事業担当課： 子育て支援課

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

- ・子育てホームページの更新・運営・管理
- ・情報収集及び取材活動
- ・研修会、講座等の開催
- ・広報及び営業活動（チラシ、カード作成・配布等）
- ・民間団体との連携（松戸子育てフェスティバル 2010、NPO・市民活動見本市、ゆうまつどフェスタ他への参画）
- ・上記に関わる労力の提供

■ 担当課の役割

- ・ホームページ作成に関する提案・助言
- ・更新作業・編集会議・研修会・講座等のための場所の確保
- ・公的機関の情報の収集（まとめ）および提供
- ・広報及び取材活動への協力（関係機関への取材依頼、カード配布他）
- ・負担金の出資

4. 事業の内容

(1) 子ども・子育て情報の一元化

① ホームページの内容（更新作業）

日付	作業内容
2009年4月 ～2010年3月	まつどあ編集会議 12回
2009年4月 ～2010年3月	更新作業、取材活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関子育て情報の収集と掲載</li> <li>・市内の行事やイベント、チラシの掲載やイベントカレンダーでの掲載</li> <li>・取材レポート、特集記事の取材と掲載</li> <li>・子育てコラムの導入</li> <li>・トップページのリニューアル化</li> </ul>

## ②運営体制の基盤作り

日付	作業内容
2009年 5月、7月、10月	まつどあ運営委員会 3回
2009年4月 ～2010年3月	まつどあ制作会議 16回
2009年6月 ～2010年3月	広報・営業活動 58回 (バナー広告掲載企業・団体— 5社)
2009年12月 2010年1月～3月	営業用チラシ作成、印刷依頼 営業用チラシ配布

## ③子育てネットワークの拡大・強化

日付	作業内容
2009年4月 ～2010年3月	市内団体の情報収集、リンク 随時
2010年1月～3月	まつどあ広報用カード作成、印刷依頼 まつどあ広報用カード入れ作成 まつどあ広報用カード配布

## (2) 母親の社会参画の支援

日付	作業内容
2009年9月	まつどあスタッフ養成講座講師打ち合わせ
2009年10月6日、 13日、20日、27日	まつどあスタッフ養成講座開催 4回
2010年3月14日	まつどあすたっふスタッフフォローアップ講座

## 5. 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

本年度も20年度の継続で、子ども・子育て情報を一元化する子育て情報拠点作りに取り組んだ。母親の自己実現・社会参画、子育て支援ネットワークの拡大・強化については大きな成果が得られ、事業目的の市民がつながりあい、子どもも親も自分らしくイキイキ過ごせる「子ども・子育てにやさしいまち作り」は昨年よりさらに1歩前進したといえる。

1) 松戸市内の子ども・子育て情報の一元化については、11月に見やすく楽しめるサイトにリニューアル。更新頻度を高めたためアクセス数が急伸し、おやこDE広場で

はまつどあを見ての来館も増えている。しかし、20年度拡大目標の小学生と就労の情報についてはあまり充実することができなかった。

- 2) 母親の自己実現、社会参画、就労の機会作りに関しては、昨年養成したママスタッフの成長が目覚しく、新規メンバーをリードして意欲的に編集業務に取り組んでいる。また、相互研修をしたり、担当課の子育てガイドブック改訂へも積極的に意見を述べたりとスキルアップ、社会参画の場になっている。
- 3) 「まつどあ」を媒体とした市民のつながりあいは、取材、営業、各種イベント等での積極的広報活動を通して幼稚園連協、地区社協、保健センターとの連携が強まったり、これまで縁がなかった認可外保育施設、青年商工会議所、千葉大学、子育て支援以外の市民活動団体等ともつながることができた。

## (2) 取り組んだ課題の現状について

1) ホームページの内容拡充のために小学生チームを新たに設けスタートしたが、9月頃より新型インフルエンザの流行で休校・休園が続き、子育て現役ママスタッフが運営するまつどあは予定変更を余儀なくされた。企画会議などが充分できなかったため、小学生及び就労サイト等の取り組みが遅れ、小学生情報や就労情報を求めている人たちに十分な情報提供ができなかった。

民間団体・企業との協力・連携については幼稚園連協、青年商工会議所、カウンセラーネットの相互リンクやカルチャー企業との相互協力等が進んでいる。

2) 母親の「まつどあ」管理運営への参画推進は、上述(1)2)の通りママスタッフたちが主体的に編集業務に取り組んでおり、子育て以外に自分自身の生きがいがあり、社会とつながってみたいと願う母親たちに活動の場が提供できた。今後運営にも携われるよう少しずつ管理業務分担も行っている。

3) 運営体制の基盤整備では昨年よりの課題であった資金確保に力を入れて取り組んだ。電話や訪問等を増やしバナー広告の営業を強化したが、世界的経済不況の影響もあり目標の6割しか達成できなかった。今後の事業の安定的継続には厳しい状況である。

4) 子育て支援ネットワークを拡大・強化については継続事業の強みで(1)3)のように昨年より飛躍的に協力・連携のつながりが増えた。

## 6. 今後の事業展開

22年度も協働事業に採択されたので、引き続き担当課と役割を分担し、「まつどあ」の充実に努める。一方で担当課より22年度よりスタートする「まつどあ」への参画のお話をいただいた。この事業は松戸市が市内の事業者や地域の方々と一体となり、ITサービスを駆使して市全体で子育て中の保護者を応援する子育て応援大作戦事業とのことで、実現すれば本事業の目的「子ども・子育てにやさしいまち作り」が達成できることになる。また、委託金とバナー広告料で運営資金を確保し、編集スタッフにはさきやかではあるが就労の場が提供できる。



# 収支決算書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

提案者	項目	予算額	決算額	差引額	備考
	バナー広告費	¥ 60,000	¥ 40,200	¥ 5,642	
	会費などの自己資金	¥ 15,485	¥ 29,643		
	自己資金合計額 (a)	¥ 75,485	¥ 69,843	¥ 5,642	
	労力換算額 (b)	¥ 539,500	¥ 902,400	¥ -362,900	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 355,365	¥ 355,365	¥ 0	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 430,850	¥ 425,208	¥ 5,642	

## 【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	(1)-① 研修会				
	講師謝礼	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ -	
	会場借料	¥ 800	¥ 546	¥ 254	
	編集会議				
	会場借料	¥ 4,800	¥ 945	¥ 3,855	
	保育謝礼	¥ 82,200	¥ 71,590	¥ 10,610	
	保育会場借料	¥ 4,800	¥ -	¥ 4,800	
	HP管理費				
	通信費	¥ 120,000	¥ 116,034	¥ 3,966	
	管理運営費	¥ 20,000	¥ 7,430	¥ 12,570	
	会場借料	¥ -	¥ 5,500	¥ -5,500	
	消耗品費	¥ 20,000	¥ 18,075	¥ 1,925	
	保険料	¥ -	¥ 11,360	¥ -11,360	
	事務費	¥ -	¥ 30,182	¥ -30,182	
	(1)-② 営業用チラシ作成				
	用紙代	¥ 1,000	¥ -	¥ 1,000	
	印刷費	¥ -	¥ 8,900	¥ -8,900	
	インク代	¥ 6,000	¥ 3,150	¥ 2,850	
	通信費	¥ 6,000	¥ 3,270	¥ 2,730	
	封筒代	¥ 500	¥ 1,362	¥ -862	
(1)-③ 広報用チラシ作成					
用紙代	¥ 1,000	¥ 873	¥ 127		
印刷費	¥ 500	¥ -	¥ 500		
広報用リーフレット					
印刷製本	¥ 35,000	¥ 11,950	¥ 23,050		
事務費	¥ -	¥ 4,000	¥ -4,000		
(2) 講座					
講師謝礼	¥ 24,000	¥ 31,610	¥ -7,610		
保育謝礼	¥ 34,250	¥ 33,320	¥ 930		
事務費	¥ -	¥ 1,110	¥ -1,110		
会場借料	¥ 4,000	¥ 8,160	¥ -4,160		
	対象となる経費合計額 (e)	¥ 394,850	¥ 399,367	¥ -4,517	
その他経費	会議費	¥ 12,000	¥ 14,141	¥ -2,141	
	スタッフの交通費	¥ 24,000	¥ 11,700	¥ 12,300	
	その他経費合計額 (f)	¥ 36,000	¥ 25,841	¥ 10,159	
	事業費 (g) (e+f)	¥ 430,850	¥ 425,208	¥ 5,642	

### 【負担金額 (c) チェック項目】

- 1 対象となる経費 (e) 欄の90%以内
- 2 自己資金 (a) 欄に労力換算額 (b) 欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 4 決算額は、予算額を超えないこと。

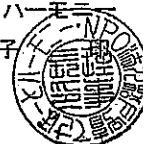
精算額 ¥0

団体名 特定非営利活動法人

松戸子育てさぼーとハニー

代表者氏名

荒 久美子



## 収支内訳書

## 【社会資源持ち寄り(収入)】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
バナー広告費	¥ 40,200		4社
会費等の自己資金	¥ 29,643		会費等の自己資金
自己資金合計額	¥ 69,843		
市負担金額	¥ 355,365		
収入合計額	¥ 425,208		

## 【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
負担金の交付対象経費	(1)-① 研修会 講師謝礼	¥ 30,000	講師料29,680. 交通費 320.	講師名 川治慎司氏
	会場借料	¥ 546		女性センター 研修室
	編集会議 会場借料	¥ 945		女性センター 2回分
	保育謝礼	¥ 71,590		保育者3名×13回
	保育会場借料	¥ -		
	HP管理費 通信費	¥ 116,034		ネット接続料
	管理運営費	¥ 7,430		さくらインターネット使用料
	会場借料	¥ 5,500		更新作業会場借料 4回分
	消耗品費	¥ 18,075		インク・FAXリボン・DVD・USBメモリー
	保険料	¥ 11,360		ボランティア保険
	事務費	¥ 30,182		資料コピー代・文房具・素材集
	(1)-② 営業用チラシ作成 用紙代	¥ -		
	印刷費	¥ 8,900		3000部
	インク代	¥ 3,150		
	通信費	¥ 3,270		バナー広告などの切手代
	消耗品費	¥ 1,362		名刺用紙代、封筒代
	(1)-③ 広報用チラシ作成 用紙代	¥ 873		カラー用紙
	印刷費	¥ -		
	広報用リーフレット 印刷製本	¥ 11,950		3000部
	事務費	¥ 4,000		広報掲示材料費
(2) 講座 講師謝礼	¥ 31,610	講師料¥22,222. 講師料¥8,888.	講師名 宮脇浩美氏、古宮保子氏 +交通費 500円	
保育謝礼	¥ 33,320	保育料¥28,800. 交通費¥4,520.	保育者4名×5回	
事務費	¥ 1,110		資料コピー代	
会場借料	¥ 8,160		野菊野サロン・会議室使用料	
対象となる経費合計額(e)	¥ 399,367			
その他経費	会議費	¥ 14,141		
	スタッフの交通費	¥ 11,700		編集会議・更新作業などの駐車料金
	その他経費合計額(f)	¥ 25,841		
事業費(g)(e+f)	¥ 425,208			

## 活動状況報告書

1. 事業名称 シニア交流センターにおける生涯学習実施事業
  
2. 実施主体
  - 団体名 松戸市認定社会教育関係団体 やよい会
  - 事業担当課 高齢者福祉課
  
3. 事業実施の役割分担
  - 団体の役割 講座実施の時期の決定、講座の内容、講師の選定、具体的な講座の運営
  - 担当課の役割 講座開催のPR、講座会場の確保及び備品等の準備
  
4. 事業の実施内容  
「平成21年度やよい会・高齢者福祉課協働企画講座」の実施

日付	作業内容
6月15日～8月3日	講座企画打合せ
8月11日	講座案内書(チラシ)企画及び作成
9月14日～15日	講座案内書(チラシ)の印刷
9月14日	市の広報掲載依頼(10月1日号)
9月16日～27日	講座案内書(チラシ)の個人への郵送、諸団体へのPR・配付等
9月24日～10月19日	講座準備
10月23日	講座の開催① シニア交流センター 受講者41名 講師 千葉西総合病院総長 前田清貴氏 講演テーマ「感染症の予防とその対策」
10月30日	講座の開催② 施設見学 参加者48名 特別養護老人ホーム「あすなろ」 施設長 小暮信将氏
11月6日	講座の開催③ シニア交流センター 受講者32名 講師 千葉県薬事アドバイザー 石井富佐恵氏 講演テーマ「薬の賢い付き合い方IV」
11月13日	講座の開催④ シニア交流センター 受講者20名 講師 松戸市消費生活センター 消費生活相談員 池田操氏 講演テーマ「高齢者を狙う悪質商法」
11月20日	講座の開催⑤ シニア交流センター 受講者28名 講師 (社)日本歯科衛生士会 常務理事 松木一美氏 講演テーマ「口腔衛生について」

## 5. 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

#### ①シニア交流センター「学ぶ」の機能の活用。

やよい会 20 年度と今回(協働・21 年度)での延受講者数は、20 年度 125 名、21 年度 169 名(うち広報 19 名)で約 35%増。成果ありと言える。

アンケートで「センターを知らなかった」人が約 3 割なので 24 名がセンターを今回知ったことになる。

#### ②生涯学習ニーズに応える。

アンケートで講座内容について「参考になった」が約 90%であったので、ニーズに充分応えていると言える。

やよい会講座では、施設見学を組み入れることを特徴としているが、この面でのニーズが大変高いことが裏づけられた。

### (2) 事業課題の解決について

#### ①生涯学習講座において、やよい会の実績を反映させる。

交通アクセスの悪い条件下でも、参加者を増やすことができたのは、今までの実績が貢献していると考えてよい。

#### ②費用面での支援が受けられ、講座・講師の選択の幅が広げられる。

アンケートでは講座内容について好評であったが、受講者の関心をより惹き付けるテーマ・内容について、もっと多くの協議検討があっても良かった。担当課とのフェース対フェースのコミュニケーションが充分とは言えなかった点については、双方の事情があったとは言え課題として残った。

#### ③交通アクセスについて。

路線バスの関係で、講座開始時間を異例の 14 時 30 分として対処した。

アンケートで過半数の人が不便を感じているという結果であったが、少しでも解消するため、帰路においては希望者には車で駅まで送ることを実施した。

#### ④受講料について。

今回は 1 人 1 回 100 円をいただく事にしたが、問題なく受け入れられた。

#### ⑤集客を高める。

市の広報に掲載していただき、9 名の応募があった。

### (3) 今後の事業展開

このような事業は、継続することにより、より効果が上がるものとする。

継続を前提としての改善点

より担当課とコミュニケーションを密にし、より魅力ある講座を組む。

アンケート結果を参考に受講者のニーズに合わせた講座内容とする。

有効と考えられるなら他団体との協働企画、運営も検討する。

より広範な PR 方法を検討する。

# 収支決算書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	受講料	¥ 25,000	¥ 16,900	¥ -8,100	
	会費と社協助成金	¥ 24,000	¥ 24,000	¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 49,000	¥ 40,900	¥ -8,100	
	労力換算額 (b)	¥ 95,000	¥ 111,500	¥ 16,500	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 79,000	¥ 79,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 128,000	¥ 119,900	¥ -8,100	

## 【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	講座講師謝礼金	¥ 60,000	¥ 48,000	¥ -12,000	
	講師謝礼品	¥ 6,000	¥ 8,150	¥ 2,150	
	施設見学謝礼	¥ 5,000	¥ -	¥ -5,000	
	印刷製本費	¥ 5,000	¥ 9,798	¥ 4,798	
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 12,747	¥ 2,747	
	ボランティア行事保険	¥ 7,000	¥ 7,000	¥ -	
	通信費	¥ 3,000	¥ 3,920	¥ 920	
				¥ -	
	対象となる経費合計額 (e)	¥ 96,000	¥ 89,615	¥ -6,385	
その他経費	飲食費	¥ 8,000	¥ 5,605	¥ -2,395	
	交通費	¥ 24,000	¥ 24,680	¥ 680	
		¥ -		¥ -	
	その他経費合計額 (f)	¥ 32,000	¥ 30,285	¥ -1,715	
	事業費 (g) (e+f)	¥ 128,000	¥ 119,900	¥ -8,100	

### 【負担金額(C)チェック項目】

¥ 79,000

- 1 対象となる経費の90%以内:  $89,615 \times 0.9 = 80,653 > 79,000$
- 2 1事業あたり50万円以内: OK
- 3 自己資金額に労力換算額を加えた金額以下:  $79,000 < 40,900 + (b)$

精算額 ¥ -

松戸市認定社会教育関係団体

やよい会

会長 近藤 剛



## 収支内訳書

## 【社会資源持ち寄り(収入)】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
受講料	¥ 16,900	¥4,100	第1日目受講料 100円×41名
		¥4,800	第2日目受講料 100円×48名
		¥3,200	第3日目受講料 100円×32名
		¥2,000	第4日目受講料 100円×20名
		¥2,800	第5日目受講料 100円×28名
会費と社協助成金	¥ 24,000	24,000	やよい会会費12,000円、助成金12,000円
自己資金合計額	¥ 40,900		
市負担金額	¥ 79,000		
収入合計額	¥ 119,900		

## 【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
負担金の 交付対象 経費	講座講師謝礼金	¥ 48,000	講師謝礼	第3日目及び第5日目講師謝礼
	講師謝礼品	¥ 8,150	謝礼品	第4日目講師謝礼品・第5日目協力謝礼品
	施設見学謝礼	¥ -		
	印刷製本費	¥ 9,798	パソコンインク代等	別紙：印刷製本費支出明細
	消耗品費	¥ 12,747	事務用品費等	別紙：消耗品費支出明細
	保険料	¥ 7,000	ボランティア保険	受講者保険料@28円×50名×5回
	通信費	¥ 3,920	チラシ送料	講座チラシ郵送料
	対象となる経費合計額	¥ 89,615		
その他 経費	飲食費	¥ 5,605	お茶代	企画会議・講座開催時お茶代
	交通費	¥ 24,680	スタッフ交通費	別紙：交通費計算表
	その他経費合計額	¥ 30,285		
	支出合計額	¥ 119,900		

(別紙1-補足)

## 収支内訳書の補足

【事業費の支出額の予算と実績】

単位:円

科 目			予 算		実 績	
科 目	内 訳	コード	予算計	内訳	実績計	内訳
講座講師謝礼金	講座講師謝礼金	1	60,000	20,000円×3	5,000	講座第3日目講師謝礼金
					43,000	講座第5日目講師謝礼金
講師謝礼品	講座講師謝礼品	2	6,000	3,000円×2	3,150	講座第4日目講師謝礼品
					5,000	パソコン指導謝礼品
施設見学謝礼	施設見学謝礼	3	5,000	5,000円×1	0	
印刷製本費	パソコンインク代・コピー代等	4	5,000		9,798	別紙支出明細書で説明
消耗品費	事務用品・印刷用紙・他消耗品	5	10,000		12,747	別紙支出明細書で説明
ボランティア保険	参加者ボランティア行事保険代	6	7,000	28円×250名	7,000	28円×50名×5回
通信費	チラシ郵送料	7	3,000		3,920	別紙支出明細書で説明
● 借金対象経費	合計		96,000		89,615	
スタッフ食事代	企画会議・講座開催時お茶代	8	8,000	100円×5名	5,605	別紙支出明細書で説明
				×16回		
スタッフ交通費	会場までの交通費	9	24,000	300円×80回	24,680	別紙交通費計算書で説明
対象外経費	合計		32,000		30,285	
総合計			128,000		119,900	

# 活動状況報告書

平成22年3月19日

1 事業の名称 市民後見人養成事業（Ⅱ）

2 実施主体

- 団体名 NPO法人成年後見センターしぐなるあいず
- 事業担当課 介護支援課・障害福祉課

3 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

- ・市民への成年後見制度の啓発及び支援活動への参加PRのための講演会の企画・開催
- ・市民の中から、後見支援のできる人材を養成する初期研修会、フォローアップ研修会の企画・開催
- ・上記講演会、研修会開催のための参加者の募集及び資料・教材の作成と手配

■ 担当課の役割

- ・事業の講演会、研修会の会場確保・手配
- ・参加者募集の広報、情報提供
- ・研修会講師の照会及び派遣
- ・研修修了者のバックアップ体制づくりへの支援

4 事業の内容

Ⅰ 第3回市民後見人養成講演会

年月日	作業内容
21.4.7～6.26	開催準備 講師手配、ポスター・チラシの作成印刷・発送・配布
21.6.27	講演会開催 「老後を安心して過ごすために～知っておきたい相続と遺言の話～」 講師；若穂井透氏 場所；松戸商工会議所 参加；144名

(受講者アンケート結果)

① 講演内容について

「よく理解できた」の回答；29%（前年度43%）

「まあまあ理解できた」の回答；65%（前年度54%）

② 市民後見人の活動について

「興味があり、市民後見人として活動したい」の回答；6.4%（前年度9.3%）

「興味があり、市民後見人についてもっと勉強したい」の回答；60%（前年度51%）



## II 第3回市民後見人養成初期研修会

年月日	作業内容
21.7.4~7.24	開催準備 講師手配、参加者募集、研修資料作成印刷・教材手配
21.7.25	初期研修会開催 科目；8科 講師；8名 場所；ゆうまつど 参加；18名

## III 第1回フォローアップ研修会

年月日	作業内容
21.9.1~12.4	開催準備 講師手配、初期研修修了者への参加募集、資料作成印刷・教材手配
第1日 (21.11.7)	「本人を支える福祉サービスと社会資源」 1 生活保護法 2 消費者保護制度 参加；31名
第2日 (21.11.8)	1 身上監護の知識と実務 2 市民後見人の役割 3 コミュニティフレンド 参加；31名
第3日 (21.12.5)	「制度の基礎知識」 1 障害者自立支援法 2 介護保険制度 3 事例検討・座談会 参加；30名

## IV 外部研修会（成年後見人候補者養成講座／PACガーディアンズ主催）

年月日	作業内容
21.12.6 ~22.1.15	受講対象者（フォローアップ研修修了者・レポート提出者）に参加の特典を付与、21名の参加希望があった。
第1日 (22.1.30)	1 成年後見制度の理念と概要 2 成年後見人の職務 3 演習と討議 参加；21名
第2日 (22.2.13)	1 財産管理の方法と留意点 2 生活支援の実務 3 身上監護に関する法制度と福祉サービス 4 事例検討 参加；21名

## 5 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

- ① 市民の成年後見制度に対する理解、関心の高まりを目指す、講演会参加者の分野別では、一般市民の参加率が34%（前年度12%）と大幅に向上し、施設関係者及び民生・児童委員等福祉関係者の34%（前年度60%）と同率となり、成年後見制度の啓発の効果が認められた。また、120名の新規参加者があった。
- ② 市民後見人の養成について、最終課程を修了した21名に法人より修了証を交付し、その中から、予想を上回る16名もの市民後見協力員の登録があり、講演会・研修事業により人材の発掘、養成が図られた。

### (2) 取り組んだ課題の現状について

- ① 協働事業に取り組む中で、法人の認知・評価が得られ、法人の目指す法人後見受任が実現した。
- ② 成年後見等の活動に意欲を持つ人材の発掘・養成することができた。
- ③ 後見活動を担う人材を継続的・安定的に発掘・養成するシステムづくりができた。

## 6 今後の事業展開

2か年の協働事業の取り組みで、千葉県では先駆的に、高齢の人・障害のある人の権利擁護に熱意を持つ、16名の市民後見協力員を養成、誕生させることができた。

今後も、

広く、市民に成年後見制度の理解を深めていただくため、市民が気軽に参加できる講演会の企画、広報活動を継続していきたい。

拡大する後見のニーズに応えるため、市民後見協力員等支援者に実務体験の場を提供するなど資質向上に努める。

市民（法人）・社会福祉協議会・松戸市と連携し、成年後見を軸とする、高齢の人・障害のある人の権利擁護ネットワークの充実を図っていく。

## 収支決算書

### 【社会資源持ち寄り(収入)】

(単位 円)

提 案 者	項 目	予算額	決算額	差引額	備考
	賛助会員年会費	100,000	60,000	-40,000	
	寄付金	10,000	5,352	-4,648	
	研修会参加費戻入	20,000	40,000	20,000	
	自己資金合計額 (a)	130,000	105,352	-24,648	
	労力換算額 (b)	390,000	423,500	33,500	※別紙
市	負担金額 (c)	500,000	500,000	0	
	資金合計額 (d) (a+c)	630,000	605,352	-24,648	

### 【事業費の支出額(支出)】

(単位 円)

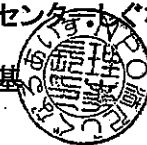
	項 目	予算額	決算額	差引額	備考
負 担 金 の 交 付 対 象 経 費	講演会チラシ製作	33,000	27,057	-5,943	
	講演会資料製作	13,000	4,920	-8,080	
	研修会資料印刷製本	56,000	60,518	4,518	
	開催通知等資料送信費	24,000	18,080	-5,920	
	教材費(既製テキスト購入)	40,000	21,081	-18,919	
	会場費	0	24,680	24,680	
	講演会講師謝礼	110,000	66,000	-44,000	
	研修会講師謝礼	242,000	244,000	2,000	
	外部研修参加費	60,000	114,000	54,000	個人負担4万
	行事保険料	13,500	0	-13,500	
	消耗品費	12,500	1,600	-10,900	
	雑費	0	7,536	7,536	
		対象となる経費合計額 (e)	604,000	589,472	-14,528
そ の 他 費	講師打合せ交通費	8,000	4,480	-3,520	
	企画調査交通費	6,000	7,000	1,000	
	支援スタッフ交通費	12,000	4,400	-7,600	
	その他経費合計額 (f)	26,000	15,880	-10,120	
	事業費 (g) (e+f)	630,000	605,352	-24,648	

精算額                      0 円

平成22年3月19日

団体名    NPO法人 成年後見センターとなるあいず

代表者    理事長 早木 紀基



# 収支内訳書

NPO法人成年後見センターしくなるあいず  
単位 円

## I. 収入の部

項目	入金内訳	実績額	備考
自己資金			
年会費	30人 × @2,000円	60,000	
寄付金		5,352	
研修参加個人負担戻入	20人 × @2,000円	40,000	
自己資金合計		105,352	
労力換算実績額	延べ847H × @500円	423,500	
市負担申請額		500,000	
収入合計額		605,352	

## II. 支出の部

### 1. 負担金の交付対象経費

項目	支払内訳	実績額	備考
1. 講演会チラシ製作	①成徳 チラシ、カラー印刷代	21,567	
	②ユニディ 印刷用紙	1,490	
	③コスモス 製本代	4,000	
			27,057
2. 講演会資料製作	①ユニディ 印刷用紙	4,060	
	② " 茶封筒	860	
			4,920
3. 研修会資料印刷製本	①ai. スタジオ 後見パンフレット製	41,960	
	②ユニディ インクカートRほか	3,294	
	③ " 印刷用紙	596	
	④ケイヨーデーツー 印刷用紙	3,058	
	⑤松障協 コピー代	500	
	⑥マツモトキヨシ 封筒代	1,960	
	⑦サンクス コピー代	1,200	
	⑧ " "	350	
	⑨ユニディ 印刷用紙	2,350	
	⑩ " コピー代	3,000	
	⑪セブンイレブン コピー代	2,250	
			60,518
4. 開催通知等資料送信費	①元山郵便局 切手代	8,000	
	②セブンイレブン メール便	400	
	③松飛台郵便局 切手代	8,000	
	④くろねこメール便	1,680	
			18,080
5. 教材費	①リーガルサポート 後見教材	15,630	
	②千葉社会福祉士協会 "	5,451	
			21,081
6. 会場費	①松戸商工会館 講演会場借料	19,680	
	② " 機器借用料	5,000	
			24,680
7. 講演会講師謝礼	①若穂井透 講師料 教材費込み	66,000	
			66,000
8. 研修会講師謝礼	①初期研修講師 7名 交通費込	89,000	
	②F・A研修 第1日 講師1名	16,500	
	③ " 第2日 講師2名	97,000	
	④ " 第3日 講師3名	41,500	
			244,000

9. 外部研修参加費	①PAC・G 後見人養成研修参加	100,000	
	② " 引率参加	5,000	
	③全国権利擁護フォーラム 参加費	9,000	
			114,000
9. 行事保険料			
10. 消耗品費	①ヤマダ電機 インクリボン	1,600	
			1,600
11. 雑費	①講師打合せ駐車料金	610	
	②講演会講師来客飲み物	1,156	
	③研修会 "	1,068	
	④研修会講師昼食代	3,694	
	⑤ユニディ 修了証書用紙代	1,008	
			7,536
交付対象経費合計		589,472	

2. その他の経費

項目	支払内訳	実績額	備考
1. 講師打合交通費	白梅大学講師出演交渉 交通費2名	4,480	
2. 企画調査交通費	松戸～東京世田谷/品川 5名	7,000	
3. 支援スタッフ交通費	松戸～千葉 2名 2往復	4,400	
その他経費合計額		15,880	
事業費合計額		605,352	

## 活動状況報告書

1. 事業名称 皆でつくる根木内歴史公園事業Ⅱ  
 2. 実施主体

- 団体名：根木内歴史公園サポーター（根っ子の会）  
 ■ 事業担当課：公園緑地課

## 3. 事業実施の役割分担

## ■ 団体の役割

- 1) 公園の保全活動、調査観察会、イベント開催、広報活動などにおける労務  
 2) 公園に関する情報、知恵、技術、人材、一部資金（会費）等の提供

## ■ 担当課の役割

- 1) 根っ子の会の活動全般へのバックアップ  
 （必要に応じた市担当者の派遣、情報の提供、行政が負担すべき物品等の提供）  
 2) 必要に応じた公園の再整備  
 3) 負担金の拠出

## 4. 事業の実施内容

## 1) 定例活動

4月3日	10:00～13:00	12名	城址口植栽、草刈り、片付け
4月17日	9:30～13:00	11名	城址口植栽の所に掲示板設置、竹弓の柵、観察調査
4月24日	9:30～12:30	14名	除草と片付け、イベントの準備
5月1日	9:30～12:30	9名	城址口植栽に長椅子を設置、竹弓柵の交換
5月15日	9:30～13:30	16名	ヨシ刈りと片付け、体験講座準備、観察調査
5月22日	9:30～12:30	10名	ヨシ刈り・除草と片付け
6月5日	9:30～13:00	10名	城址口植栽の草刈り、移植地などの除草
6月19日	9:30～13:00	12名	湿地の手入れ作業、観察調査
6月26日	9:30～13:00	11名	湿地の手入れ作業
7月3日	9:30～12:00	16名	湿地の手入れ作業
7月17日	9:30～12:30	11名	城址口植栽の草刈り、観察調査
7月24日	9:30～12:30	12名	湿地と樹林地の手入れ作業
7月31日	9:30～12:30	9名	湿地の手入れ作業
8月21日	9:30～12:30	15名	城址口・湿地の作業、調査観察
8月28日	9:30～12:30	8名	湿地の手入れ作業
9月4日	9:30～12:30	13名	湿地の手入れ作業
9月18日	9:30～12:30	13名	湿地の手入れ作業、観察調査
9月25日	9:30～12:30	10名	湿地の手入れ作業、城址口植栽の除草
10月16日	9:30～12:30	12名	湿地の手入れ作業、観察調査
10月23日	9:30～12:30	14名	湿地の手入れ作業、観察調査
10月30日	9:30～12:30	8名	湿地の手入れ作業
11月8日	9:30～12:30	3名	ヨシ刈り体験イベント後の整備
11月9日	9:30～12:30	3名	〃
11月10日	9:30～12:30	3名	〃

11月20日	9:30~12:30	16名	ヨシ刈り体験イベント後の整備、竹弓を作製、観察調査
11月27日	9:30~12:30	11名	竹弓を作製、園路に設置、湿地の手入れ作業
12月4日	9:30~12:30	16名	竹の柵の入れ替え作業、廃棄物の撤去、樹林地の点検・観察
12月25日	10:00~13:00	13名	門松ミニ門松づくり
1月15日	10:00~13:00	9名	湿地の手入れ作業
1月22日	10:00~13:00	16名	湿地の手入れ作業
1月29日	10:00~13:00	12名	湿地の手入れ作業、城址口の除草
2月5日	10:00~13:00	14名	湿地の手入れ作業、公園入口の整備
2月19日	10:00~13:00	11名	湿地の手入れ作業、田んぼと木道の位置確認
2月23日	10:00~13:00	3名	木道設置の準備作業
2月26日	10:00~13:00	11名	木道設置作業、中央階段の整備
3月19日	10:00~13:00	19名	音楽会用楽器づくり
3月26日	10:00~13:00	13名	湿地、樹林地の整備

## 2) ミーティング

4月10日	10:00~13:00	14名	体験講座・イベント準備
5月8日	10:00~13:00	18名	総会、体験講座準備
5月29日	10:00~13:00	12名	体験講座の準備
6月12日	10:00~13:30	13名	定例ミーティング
7月10日	10:00~13:00	14名	定例ミーティング
8月14日	10:00~13:00	15名	定例ミーティング
9月11日	10:00~13:00	15名	定例ミーティング
10月9日	10:00~13:00	13名	定例ミーティング
11月13日	10:00~13:00	13名	定例ミーティング
12月18日	10:00~12:30	17名	定例ミーティング
1月8日	10:00~14:00	17名	定例ミーティング
2月12日	10:00~13:00	14名	定例ミーティング
3月12日	10:00~13:00	17名	定例ミーティング

## 3) 観察調査会

4月8日	10:20~12:20	6名	花ごよみ4月
5月12日	9:30~12:30	6名	花ごよみ5月
6月15日	9:30~12:30	9名	花ごよみ6月
7月14日	9:30~12:30	9名	花ごよみ7月
5~6月			メッシュ調査
8月5日	9:30~12:30	9名	花ごよみ8月
9月8日	9:30~12:30	8名	花ごよみ9月
10月5日	9:30~12:30	6名	花ごよみ10月
11月2日	9:30~12:00	8名	花ごよみ11月
12月7日	9:30~12:00	9名	花ごよみ12月
1月	9:30~12:00	7名	花ごよみ1月
2月	9:30~12:00	7名	花ごよみ2月
3月	9:30~12:00	7名	花ごよみ3月

#### 4) イベント・その他行事関係

4月29日	8:00~16:00	16名	緑と花のフェスティバル2009の展示参加
5月5日	9:30~13:00	5名	公園の写真展
5月6日	9:30~14:00	6名	公園の写真展
5月26日~6月30日	全5回		根木内歴史公園ボランティア体験講座
7月10日	9:00~12:00	3名	協働イベントの来園
8月3日	9:00~13:00		虫ハカセになろう!
8月25日	9:00~13:00		夏休み工作づくり
10月18日	8:00~16:00	7名	小金地区社会福祉協議会の「ふれあい広場」に展示参加
11月6日	9:30~12:30	12名	ヨシ刈り体験イベント 合計25名の参加
11月19日	12:00~16:00	3名	柏市民センター「松ヶ崎自然塾」の見学会とプレゼンテーション
11月23日	10:00~12:00	16名	鳥の観察会
11月26日	10:30~11:30	3名	大金平の老人会「菜の花クラブ」を公園案内
12月25日	10:00~13:00	13名	公園の門松とミニ門松づくり
3月5日	10:00~13:00	13名	剪定勉強会
3月14日	10:00~12:00	2名	ボーイスカウト松戸6団を公園案内
3月25日	10:00~13:00		公園で楽しむ音楽会(中止)

#### 5. 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載。

- 樹林地や湿地帯の保全活動は、竹や不要樹木の伐採、下草刈り、ヨシ刈り、園路の整備等である。春から夏にかけてヨシなどの生育が旺盛で、公園の良好な状態を確保するために活動日を増やして作業対応をしている。  
毎週金曜日を定例活動日、第2金曜日にミーティングを行い、会員間の情報共有化に努め意見交換を行った。(作業活動:37回、ミーティング:13回)
- 公園緑地課(行政)との役割分担はミーティングで協議を行い、整備実施にあたっての合意や問題点の把握は共有化されている。業者(西原造園)が定期的に整備作業を行い、危険倒木の伐採、危険箇所(補修整備、城址口の植栽整備)なども実施されている。  
城址口に表示板(根木内歴史公園)と案内板(公園入口案内)を根っ子の会が製作し、業者に基礎の建て掛けを依頼し、城址口に相応しい景観とした。
- 千葉大学園芸学部との連携は先生方も関心をもって協力的である。相澤氏(千葉大学大学院生)が中心となり、花ごよみ(植物の一般観察会)を毎月開催し、湿地全体の調査(98ポイント)と5箇所の定点調査を主体的に行って、記録レポートの作成もしている。今年度は「2008年度根木内歴史公園湿地部調査・観察会報告(62頁)」を製本し、会員および関連の方々に配布。また、公園の利用調査を実施し、利用内容・利用時間・利用者の性別・利用者の年齢を集計したレポートを作成している。根っ子の会メンバーには不足している知識・能力を協働連携できていることは素晴らしいことである。
- イベント関係は、家族と子どもたちを対象にしたもの(虫の観察会と夏休み工作づくり)、近隣の方々を対象にしたもの(ヨシ刈り)、会員を主体にしたもの(鳥の観察会)を開催した。天候に恵まれないことはあったが、参加者の皆さんに楽しんでいただけたと思う。



- ① 緑と花のフェスティバル2009： 4月29日  
昨年度に続き公園緑地課のテントで展示（活動の紹介）、ヨシズ編みとドングリクラフトの実演は好評でした
- ② 公園の写真展： 5月5日～6日  
初めての開催で、額縁とイーゼルを手作りしての展示紹介  
（四季を通しての公園の景観や花・植物・昆虫・鳥など）
- ③ 根木内歴史公園ボランティア体験講座： 5月26日～6月30日の全5回の開催  
根っ子の会は設立から3年を迎え、会員増加を意図して、5日間の体験講座を開講した。  
受講生16名で充実した内容であったとの感想。9名の入会者。
- ④ 虫ハカセになろう！：8月3日開催  
家族連れが多く参加し、子ども57名+大人31名+根っ子の会とスタッフ24名 計112名  
昨年より参加者が多かった理由：PRがよかったか？  
（2008年子ども17名+大人6名、2007年子ども25名+大人10名）  
○広報まつど7月15日号掲載、 ○地域新聞UKIUKI 7月17日号掲載、  
○まつどあHP（松戸子育てさぽーと）掲載、 ○根木内歴史公園の掲示板にポスター掲示  
○近隣町会の掲示板にポスター掲示、 ○近隣小学校にポスター掲示  
○チラシ配布（主に来園者＝ザリガニ捕りの親子）
- ⑤ 夏休み工作づくり：8月25日開催  
予測以上の参加：子ども56名+大人25名+スタッフ35名+会員とスタッフ35名 計116名
- ⑥ ヨシ刈り体験イベント：11月6日開催  
25名で作業を行い、ミクリ池～パーゴラまでの湿地のヨシ刈りを完了  
水量が多く排水をしたが、水の多い湿地の中での作業は厳しかった。
- ⑦ 鳥の観察会：8月23日開催  
会員を中心として23名の参加者で、15種類の鳥を観察できた。  
山階鳥類研究所の平岡 孝氏に講師をお願いし、よい観察会ができた。
- ⑧ 剪定勉強会：3月5日開催  
実施
- ⑨ 公園で楽しむ音楽会：3月25日開催  
中止

#### 5) その他の活動

- ① 小金地区社会福祉協議会の「ふれあい広場」に展示参加
- ② 柏市民センター「松ヶ崎自然塾」の見学会とプレゼンテーション
- ③ 協働イベントの来園で公園案内
- ④ 大金平の老人会「菜の花クラブ」を公園案内
- ⑤ ボーイスカウト松戸6団を公園案内
- ⑥ 根木内小学校3年生の郊外学習の見守り
- ⑦ 稲の試験栽培（茨城コシヒカリと黒米）
- ⑧ 湿地木道の設置（パーゴラ～中央階段方向）
- ⑨ 中央階段の砂利や土の流失防止柵の設置
- ⑩ 城址口に表示板と案内板を設置

#### 6) 広報活動について

- ① ホームページは活動ごとの更新で、観察調査やイベントなどの開催案内と写真報告の最新情報を掲載し、カウント数：9100と増えており、市内外の皆さんに閲覧いただいている。

② 掲示板は入口・芝生広場・城址口の3箇所に設置しており、公園の花情報・四季情報・イベント案内・写真報告を入替え実施している。

③ 根っ子の会の「のぼり旗」を活動日に掲揚し、活動が分るようにしている。

(2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載い。

- 1) 公園の整備を進め、園路は明るく安全な景観を保ちたいとする考えと、できるだけ自然のままを守っていききたいとする考えが対立していた時期はあった。毎月のミーティング開催での話し合いや手入れ方法の歩み寄りによる合意形成に努めてきた。
- 2) 夏場の渇水時期に問題となる湿地の水の確保(地下水の補水設備)は予算が確保できないため実施見送りとなっている。
- 3) 協働事業負担金によって、備品および作業用品を購入でき、作業が円滑に進めることができた。イベント関係でも備品購入や謝金の活用によって良好な運営ができた。
- 4) 中学生の副読教本「松戸の自然」に根木内歴史公園の植物の写真を提供し、20枚が掲載されることになり広報効果を期待するところである。また、小金保育園と小金原幼児教室が来園し、楽しんでもらえたと思う。しかし、歴史関係の案内は、来園グループに説明することと掲示板に関連情報掲示程度で十分とは言えない。
- 5) 行政の委託による維持管理業者(西原造園)との作業範囲や内容は特に問題なく、根っ子の会との協調と補完ができています。

6. 今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたいのかを記載。

- 1) 「公園の未来図」について  
根っ子の会の会員間と公園緑地課で検討中であるが、纏った段階でHPや園内の掲示板に掲載し、市民からの意見や提案も検討を行う。
- 2) 会員の募集について  
適時会員募集を行い、さらに活動を充実させる。
- 3) 活動資金の確保について  
企業や近隣の町内会に協賛会員として資金提供を呼びかけ、安定した活動資金を確保する。
- 4) 協働のモデルケースについて  
樹林地と湿地帯を含む自然豊かな公園の保全管理の方法や公園の利用のあり方について協働で進める試みは、松戸市ではこの公園がはじめてであるため、先進的モデルケースとして継続発展させていく。
- 5) 協働事業提案制度適用以降について  
制度適用以降も、根っ子の会と公園緑地課との協働事業として継続させる。

この公園での活動は、「豊かな自然」と「古来の歴史」を楽しめる場にしていくことですが、何よりも「自分たちの街」を「自分たちの手」で「安全で、快適な、暮らしやすい街」にしたいという願いから生まれたものであり、「街のために」「皆のために」「自分のために」という、やりがいのある活動です。この市民と行政の協働活動を継続することにより、松戸市が「豊かで活力のある、住んでよかった街、住みたい街」になることを願っています。

# 収支決算書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	会費	¥ 28,000	¥ 27,000	¥ -1,000	
	講座参加費	¥ 30,000	¥ 20,000	¥ -10,000	
	協賛金等		¥ 12,307	¥ 12,307	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 58,000	¥ 59,307	¥ 1,307	
	労力換算額 (b)	¥ 897,000	¥ 500,000	¥ -397,000	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 400,000	¥ 400,000	¥ -	精算額
資金合計額 (d) (a + c)		¥ 458,000	¥ 459,307		

## 【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	保険料	¥ 32,000	¥ 19,150	¥ 12,850	
	広報費	¥ 49,300	¥ 38,330	¥ 10,970	
	事務経費（通信費等）	¥ 5,000	¥ 48,750	¥ -43,750	
	消耗品費	¥ 170,000	¥ 174,785	¥ -4,785	
	会場費	¥ 10,000	¥ 6,000	¥ 4,000	
	燃料費	¥ 20,000	¥ 15,292	¥ 4,708	
	謝金	¥ 169,000	¥ 157,000	¥ 12,000	
				¥ -	
		対象となる経費合計額 (e)	¥ 455,300	¥ 459,307	¥ -4,007
その他経費	予備費	¥ 2,700		¥ 2,700	
				¥ -	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (f)	¥ 2,700	¥ -	¥ 2,700	
事業費 (g) (e + f)		¥ 458,000	¥ 459,307	¥ -1,307	

### 【負担金額 (C) チェック項目】

- 1 対象となる経費 (e) 欄の90%以内
- 2 自己資金 (a) 欄に労力換算額 (b) 欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額

¥

-

団体名 根木内歴史公園サポーター  
代表者氏名 代表 森 恭二



## 収支内訳書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
会費	¥ 27,000		会員会費27名
講座参加費	¥ 20,000	2,000×10名	根木内歴史公園ボランティア体験講座
協賛金等	¥ 12,307		協賛金+預金利息
自己資金合計額	¥ 59,307		
市負担金額	¥ 400,000		
収入合計額	¥ 459,307		

## 【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	保険料	¥ 19,150	別紙支出明細
	広報費	¥ 38,330	〃
	通信費（事務経費）	¥ 48,750	〃
	消耗品費	¥ 174,785	〃
	会場費	¥ 6,000	〃
	燃料費	¥ 15,292	〃
	謝金	¥ 157,000	〃
		¥ -	
対象となる経費合計額	¥ 459,307		
その他経費		¥ -	
		¥ -	
	その他経費合計額	¥ -	
支出合計額	¥ 459,307		

# 活動状況報告書

1. 事業名称 キッズイノベーション事業。

2. 実施主体

■ 団体名： 特定非営利活動法人サイエンスシャワー

■ 事業担当課： 生涯学習本部企画管理室

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

理科実験の開発・企画を行い、「感動を与える理科実験・工作教室」が構築でき、活動の輪が広がった。

■ 担当課の役割

教育委員会が進めている事業（学校を核にした地域コミュニティづくり事業）と連動し、学校・地域連携をする役割。

4. 事業の内容

I 柿ノ木台小学校（理科室）

日付	作業内容
4月15日	チラシの企画及び作成
4月20日	柿ノ木台小学校校長と事業の打ち合わせ
4月21日～22日	チラシの印刷 ホスターの印刷
4月22日	柿木台、矢切、大橋小学校にチラシ、ポスターを配布
4月25日	父兄説明会・申し込み
5月9日	第1回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
5月16日	第2回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
5月30日	第3回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
6月13日	第4回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
6月27日	第5回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
7月4日	第6回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
7月25日	第7回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
9月12日	第8回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
9月26日	第9回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
10月10日	インフルエンザによる学校閉鎖のため休講
10月24日	第10回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
11月7日	第11回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名
11月28日	第12回実験 参加者 a: 18名、b: 19名、c: 10名 合計 47名

12月12日	第13回実験 参加者 a : 18名、b : 19名、c : 10名 合計 47名
1月9日	第14回実験 参加者 a : 18名、b : 19名、c : 10名 合計 47名
1月23日	第15回実験 参加者 a : 18名、b : 19名、c : 10名 合計 47名
2月13日	第16回実験 参加者 a : 18名、b : 19名、c : 10名 合計 47名
2月27日	第17回実験 参加者 a : 18名、b : 19名、c : 10名 合計 47名
3月13日	第18回実験 参加者 a : 18名、b : 19名、c : 10名 合計 47名

## II 六実中学校 (第二理科実験室)

日付	作業内容
4月15日	チラシの企画及び作成
4月20日	六実中学校校長と事業の打ち合わせ
4月21日～22日	チラシの印刷 ホスターの印刷
4月22日	高木第二、六実、六実二、六実三小学校にチラシポスターを配布
4月25日	父兄説明会・申し込み
5月9日	第1回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 14名 合計 46名
5月16日	第2回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
5月30日	第3回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
6月13日	第4回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
6月27日	第5回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
7月4日	第6回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
7月25日	第7回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
9月12日	第8回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
9月26日	第9回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
10月10日	第10回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
10月24日	第11回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
11月7日	第12回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
11月28日	第13回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
12月12日	第14回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
1月9日	第15回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
1月23日	第16回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
2月13日	第17回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
2月27日	第18回実験 参加者 a : 10名、b : 18名、c : 10名 合計 46名
3月13日	予備実験 参加者 a : 0名、b : 0名、c : 10名 合計 14名

## III 郊外学習「独立行政法人 海洋研究開発機構」神奈川県横須賀市夏島町2番地15

5月11日	海洋研究開発機構の広報担当者との日程と講演の打ち合わせ
8月6日	松戸から海洋研究開発機構までの移動時間の確認と休憩等の確認
8月24日	海洋研究開発機構「横須賀本部」の見学

## 5. 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

#### ① 子ども理科実験・理科工作の提供

「子どもたちを対象に、五感を働かせ、体を動かし「実験・実習・観察・創意工夫」する理科教室を開設し、子どもたちの科学に対する興味・関心を高めます。」については、ほぼ目標に達し、参加者のリタイヤもなく、充実した理科・工作を行うことが出来た。しかし今年度の理科実験において、新型インフルエンザによる影響がかなり出た。特に隔週の理科実験なので無理して参加し、体調を壊した児童が目立った。

#### ② 多彩なおとなの活用

「社会貢献を推奨している団体・企業の協力を得て、豊富な知識、バリエーションに富んだ人材を確保し、活用します。」については、郊外学習の形で団体「独立行政法人 海洋研究開発機構」の職員に参加していただき、研究の様子や、研究員がどのように研究している様子をセミナーの形で児童にわかりやすく解説をしました。

### (2) 取り組んだ課題の現状について

解決できたことについて、事業スケジュール「理科実験・理科工作」予定通り進んだ。若干、理科工作において作業の進行課程で遅くなり、1 時間で終わらない児童については少し居残りして工作进行させた。C コース (5-6 年生) においては実験の内容のスキルを上げる要求があった。

## 6. 今後の事業展開

今後、理科実験を継続する児童が増加して、より高度な実験を要求する傾向があります。コンピューターを導入して、自動測定システムを構築や、コンピューターによるロボットの研究等の視野に入れて実験メニューを考えています。さらに、地域の企業や業界団体との連携を進めることにより、理科実験・理科工作を通じた子どもとおとなのコミュニケーションとネットワークのインフラ事業を展開する。

## 収支決算書

### 【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	参加費	¥ 720,000	¥ 864,000	¥ 144,000	
	見学会	¥ 100,000	¥ -	¥ -100,000	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 820,000	¥ 864,000	¥ 44,000	/
	労力換算額 (b)	¥ 360,000	¥ 357,000	¥ -3,000	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 376,800	¥ 376,800		精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 1,196,800	¥1,240,800		/

### 【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	講師謝金	¥ 576,000	¥ 575,700	¥ 300	
	広報チラシの印刷	¥ 72,000	¥ 72,000	¥ -	
	ポスターの印刷	¥ 60,000	¥ 60,000	¥ -	
	消耗費	¥ 230,400	¥ 387,040	¥ -156,640	
	通信費	¥ 28,800	¥ 2,250	¥ 26,550	
	保険	¥ 60,000	¥ 32,132	¥ 27,868	
	イベント保険	¥ 10,000	¥ 2,400	¥ 7,600	
	見学会(バス代)	¥ 90,000	¥ -	¥ 90,000	
	対象となる経費合計額 (e)	¥ 1,127,200	¥1,131,522	¥ -4,322	/
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 12,000	¥ 7,678	¥ 4,322	
	スタッフの交通費	¥ 57,600	¥ 101,600	¥ -44,000	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (f)	¥ 69,600	¥ 109,278	¥ -39,678	/
	事業費(g) (e+f)	¥ 1,196,800	¥1,240,800	¥ -44,000	/

#### 【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額

¥

-

団体名

代表者氏名

特定非営利活動法人  
サイエンスシャワー

横田文男





## 収支内訳書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
参加会費	¥ 864,000		参加会費80名×18回×600円
見学会	¥ -		
自己資金合計額	¥ 864,000		
市負担金額	¥ 376,800		
収入合計額	¥ 1,240,800		

## 【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の交付対象経費	1 講師等謝金	¥ 575,700	10,500円×19回 6,600円×3名×19回	講師1名、アシスタント3名
	2 広報チラシの印刷	¥ 72,000	6000部×12円	製作費を含んだ単価
	3 ホスターの印刷	¥ 60,000	100部×600円	製作費を含んだ単価
	4 消耗費	¥ 387,040		
	5 通信費	¥ 2,250		はがき@50円×45
	6 運営スタッフ保険	¥ 16,002		あいおい損害保険株式会社 加入期間21年4月25日～22年4月24日
	7 児童総合保険	¥ 16,130		ニッセイ同和損害保険株式会社 加入期間21年5月17日～22年5月17日
	8 イベント保険	¥ 2,400		行事保険2,400円 あいおい損害保険株式会社
	対象となる経費合計額	¥ 1,131,522		
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 7,678		菓子・飲み物
	スタッフの交通費	¥ 101,600		
	その他経費合計額	¥ 109,278		
	支出合計額	¥ 1,240,800		

## 活動状況報告書

1. 事業名称 外国人の子ども支援事業
2. 実施主体 ■ 団体名： NPO法人 外国人の子どものための勉強会  
 ■ 事業担当課： 市民環境本部 企画管理室
3. 事業実施の役割分担
  - 団体の役割 「講演会」「スタッフ養成講座」を企画、実施  
 「夏休みにほんご教室」を企画、実施
  - 担当課の役割 「講演会」「スタッフ養成講座」での広報、場の確保、負担金  
 「夏休みにほんご教室」での広報、場の確保、負担金

### 4. 事業の実施内容

#### I 「講演会」「スタッフ養成講座」の実施

日付	作業内容
4月14日～18日	協働事業打ち合わせ
4月28日	市の広報掲載依頼（6月1日号/6月15日号）
5月11日	チラシの企画及び作成
5月21日	チラシの印刷
5月22日～7月18日	チラシのPR活動
6月2日～6日	講演会打ち合わせ
6月28日	講演会の開催 市民会館 講師佐藤郡衛氏 参加者 59人
7月2日～11日	スタッフ養成講座打ち合わせ
7月19日	スタッフ養成講座の開催 市民会館 講師井上恵子氏 参加者 56人

#### II 夏休みにほんご教室の実施

日付	作業内容
4月28日	市の広報掲載依頼（7月1日号）
5月11日	チラシの企画及び作成
5月21日	チラシの印刷
5月22日～7月23日	チラシのPR活動
7月21日	日本語教室打ち合わせ
7月24日	日本語教室の実施 参加者（子ども30人・スタッフ24人）54人
7月25日	日本語教室の実施 参加者（子ども31人・スタッフ23人）54人
7月28日	日本語教室の実施 参加者（子ども25人・スタッフ16人）41人
7月29日	日本語教室の実施 参加者（子ども30人・スタッフ25人）55人
7月31日	日本語教室の実施 参加者（子ども28人・スタッフ23人）51人
8月1日	日本語教室の実施 参加者（子ども8人・スタッフ11人）19人
8月4日	日本語教室の実施 参加者（子ども10人・スタッフ16人）26人
8月5日	日本語教室の実施 参加者（子ども8人・スタッフ17人）25人
9月3日～8日	協働事業の振り返り
9月30日	事業終了

## 5. 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

本事業は、増え続けている外国人の子ども達に日本語、教科サポートを行い、課題（日本語が話せていても、教科学習にはなかなかついていけない）への対応を目指すものであった。

先ず、外国人の子ども支援に参加してもらおうスタッフを集めるため、広く一般に呼びかけ、「講演会」と「スタッフ養成講座」を開催した。どちらも定員（50名）以上の参加があり、支援体制充実でほんご教室に臨めた。

夏休みにほんご教室は8日間で述べ170名の子ども、延べ155名のスタッフの参加で実施した。「グループ学習」「新しい先生や仲間」「苦手な日本語にチャレンジ！」で進めた。夏休みの宿題という苦手な日本語を中心に有意義な教室であった。

### (2) 事業課題の解決について

外国人の子ども支援と言えば、ミクロ的に日本語支援と認識されがちである。今回は異文化間教育という視点から、地域が如何に外国人の子どもを支えていくかを考える「講演会 地域で支える外国人の子ども」を開催した。参加は遠方地域の方、既に外国人の子ども支援をされている方、全く初めての方など広範に及んだ。

「スタッフ養成講座」はボランティア体験の高校生、一般の参加もあり、実際夏休みにほんご教室ですぐ実践できるものをワークショップでたくさん学んだ。

講演会や講座に参加の34名の方に夏休みにほんご教室にサブスタッフとして参加していただくことができた。

柱である「夏休みにほんご教室」は、べらべら話せても、教科学習についていくのは難しい子どもが40名集まった。小学生は5日間、中学生は8日間、夏休みの宿題を新しい仲間とグループでわいわい言いながらこなした。子どもたちからは「宿題が出来た！」「新しい友だちが出来た。」「高校生が教えてくれてよかった」などの感想が聞かれた。

## 6. 今後の事業展開

①夏休みにほんご教室の内容充実をめざし、1日を国際関連グループなど他団体の協力を得る。

②冬休み日本語教室を加える。③高校生の国際交流活動を行う。

以上を踏まえ発展展開していく。

## 収支決算書

### 【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	NPO会費	¥ 30,000	¥23,000	¥ -7,000	
	寄付	¥10,000	¥17,000	¥ 7,000	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 40,000	¥ 40,000	¥ -	/
	労力換算額 (b)	¥250,000	¥250,000		※別紙
市	負担金額 (c)	¥283,840	¥283,840	¥ -	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 323,840	¥ 323,840		/

### 【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の 交付対象経費	1 講演会講師料	¥30,000	¥30,238	¥ -238	
	2 養成講座講師料	¥30,000	¥17,294	¥ 12,706	
	3 日本語教室謝金	¥240,000	¥236,000	¥ 4,000	
	4 ボランティア保険	¥7,840	¥2,240	¥ 5,600	
	5 チラシ等用紙・印刷・インク	¥9,000	¥29,573	¥ -20,573	
	6 日本語教室教材・コピー代	¥7,000	¥8,495	¥ =1,495	
		対象となる経費合計額 (e)	¥ 323,840	¥ 323,840	¥ -
その他経費					
	その他経費合計額 (f)				/
	事業費 (g) (e+f)	¥ 323,840	¥ 323,840	¥ -	/

#### 【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 4 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額                      ¥                      -
---

団体名      NPO法人外国人の子どものための勉強会

代表者氏名      理事長      海老名みさ子



## 収支内訳書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
NPO会費	¥23,000	1,000円*23名	会員会費
寄付	¥17,000	2,000円*1名 4,000円*2名 7,000円*1名	
自己資金合計額	¥ 40,000		
市負担金額	¥283,840		
収入合計額	¥ 323,840		

## 【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の 交付対象 経費	1 講演会講師料	¥30,238	1名*30,000円 講師飲み物*238円	講師名 佐藤郡衛氏
	2 養成講座講師料	¥17,294	1名*17,000円 講師飲み物*294円	講師名 井上恵子氏
	3 日本語教室謝金	¥236,000	36,000円*1回 34,000円*2回 24,000円*3回 38,000円*4回 44,000円*5回 16,000円*6回 18,000円*7回 26,000円*8回	7/24:18名 7/25:17名 7/28:12名 7/29:19名 7/31:22名 8/1:8名 8/4:9名 8/5:13名
	4 ボランティア保険	¥2,240	10人*28円*8日間	ボランティア行事保険 加入期間：夏休みにほんご教室中
	5 チラシ等用紙・印刷 インク	¥29,573	用紙*12,714円 印刷代*1,900円 インク*14,959円	用紙：チラシ青黄ピンク・教室白 インク：ブラック&カラー
	6 日本語教室教材コピー 代	¥8,495	教材*6,920円 コピー代1,575円	教材：にほんごワークブック・宝島・板 目紙
対象となる経費合計額	¥ 323,840			
その他 経費				
	その他経費合計額	¥ -		
支出合計額	¥ 323,840			

# 活動状況報告書

1. 事業名称 「協働イベントの作り方」講座開催事業

2. 実施主体

■ 団体名：NPO法人 松戸市民劇団

■ 事業担当課：協働推進課

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

事業の企画運営、対象者の募集、ミニコミ誌等への広報活動、会計事務等

■ 担当課の役割

行政職員の講座への参加推進、講座会場の確保、負担金の交付、広報誌へのPR等

4. 事業の内容

## I 協働イベントの作り方講座の実施

日付	作業内容
4月30日～5月28日	前期・事業企画事前打ち合わせ
6月4日～8月6日	協働イベントの作り方講座実施（前期6日間）
8月25日～10月5日	後期・事業企画事前打ち合わせ
10月13日～12月8日	協働イベントの作り方講座実施（後期6日間）
22年1月6日	講座振り返り会議
3月25日～28日	決算、事業報告のまとめ作業

## 5. 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した成果目標が、どの程度達成されたのかを記載してください。

市民活動の新しい市民の担い手（若手）を発掘すること、並びに、市民の行政に対する偏見や、市職員の市民に対する畏怖を払拭することが目標であった。結果として、市民側から数名の協働事業への協力者が生まれた。また青年会議所と行政を結びつけることができた。

関わった市民からは、「職員の人と仲良くなれたので、役所が身近になった」「相談する相手が出来た」と喜ばれた。行政職員からは「市民といえば圧力団体とのイメージがあったが、そんな人ばかりでないと思えた」との感想を頂けた。

結果としては、相互の良いコミュニケーション作りができ、当初の目標を達成できたと思います。

### (2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載してください。

#### \*解決できたこと

講座に参加したことによって、市民と市職員との、お互いに対する思い込みや誤解、偏見が取り払われ、今後の友好的関係が大いに期待できること。特に次世代の人達の交流が始まったことが、行政と市民の協働の街づくりへの足がかりとなったのではないかと思う。

#### \*解決できなかったこと

解決できないと言うより、これからの課題ですが、行政の参加者がもう少し多いと良い。

せっかく市民と触れ合う機会を生かせず、もったいないと思う。

## 6. 今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたいのかを記載してください。

役所内部で、協働に対しての理解と認識を更に深めて頂くことが大事。所属長や上司の後押しがないと若手職員は参加しにくいのではないかと思う。

次回、協働の講座を担当できるような機会があれば、是非、行政職員の新人研修を企画実施してみたい。

## 収支決算書

### 【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	講座参加費（受講料）	¥ 45,000	¥ 105,000	¥ 60,000	
	雑入	¥ -	¥ 4,153	¥ 4,153	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額（a）	¥ 45,000	¥ 109,153	¥ 64,153	/
	労力換算額（b）	¥ 264,000	¥ 191,375	¥ -72,625	※別紙
市	負担金額（c）	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ -	精算額
	資金合計額（d）（a+c）	¥ 345,000	¥ 409,153		/

### 【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の 交付対象経費	講師謝礼、手伝い謝礼、お礼	¥ 240,000	¥ 114,615	¥ 125,385	
	消耗品	¥ 100,000	¥ 5,822	¥ 94,178	
	委託料	¥ -	¥ 90,217	¥ -90,217	
	印刷	¥ -	¥ 88,888	¥ -88,888	
	広告宣伝	¥ -	¥ 31,500	¥ -31,500	
	会議室使用料	¥ -	¥ 29,920	¥ -29,920	
	受講者用飲料、菓子等	¥ -	¥ 22,241	¥ -22,241	
	保険料	¥ -	¥ 1,200	¥ -1,200	
	講師賄（食事代）	¥ -	¥ 2,800	¥ -2,800	
	対象となる経費合計額（e）	¥ 340,000	¥ 387,203	¥ -47,203	/
その他 経費	スタッフ飲食費用	¥ 5,000	¥ 1,950	¥ 3,050	
	スタッフの交通費	¥ -	¥ 20,000	¥ -20,000	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額（f）	¥ 5,000	¥ 21,950	¥ -16,950	/
	事業費（g）（e+f）	¥ 345,000	¥ 409,153	¥ -64,153	/

#### 【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額

¥

団体名  
代表者氏名

松戸市民劇団  
駒倉留美子





## 収支内訳書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
講座参加費（受講料）	¥ 105,000	3000円×35人	参加者前期・後期合計35人
雑入	¥ 4,153		打合せ飲食代の端数7回分
自己資金合計額	¥ 109,153		
市負担金額	¥ 300,000		
収入合計額	¥ 409,153		

## 【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の 交付対象経費	1 講師謝礼、手伝い 謝礼、お礼品	¥ 114,615	講師5000円×14人(回) 講師30,000円×1人 手伝1000円×2人×4回 お礼品3点6615円	講師：榎本(2)、峰岸、松岡、高安(2)、石上(8)、特別講師：溝尾
	2 消耗品	¥ 5,822	6件	筆記用具、のし袋、紙コップ、ポーション ミルク、ハーブティ茶葉
	3 委託料	¥ 90,217	市民劇団60217円 Kストーリー30000円	劇団6000×6回、5000×6回、値引き5783円 Kストーリー15000円×2回
	4 印刷	¥ 88,888	講座チラシデザイン・ 印刷、名札、看板一式	(株)アキハマ・ブレイズ・コミュニティ
	5 広告宣伝	¥ 31,500		あさひれすか5月20日号
	6 会議室使用料	¥ 29,920	女性センター8回 商工会館2回	女性センターゆうまつど、商工会館
	7 受講者用飲料、菓子等	¥ 22,241		徳川将軍コーヒー、戸定三楽ほか
	8 保険料	¥ 1,200		市内ツアー用参加者保険
	9 講師賄（食事代）	¥ 2,800		講師食事3回分
	対象となる経費合計額	¥ 387,203		
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 1,950		7/2ツアー打上げ費用補助
	スタッフの交通費	¥ 20,000		交通費 2000円*5人*2回
	その他経費合計額	¥ 21,950		
支出合計額	¥ 409,153			

# 活動状況報告書

1. 事業名称 子育て支援ネットワークづくり事業
  
2. 実施主体
  - 団体名： 松戸子育てフェスティバル実行委員会
  - 事業担当課： 子育て支援課
  
3. 事業を実施する上での役割分担
  - 提案者の役割
    - ◆事業の企画・運営
    - ◆子育て支援団体のネットワーク組織運営
  - 市の役割
    - ◆子育て関連部署が実行委員会に参画
    - ◆会場の確保、広報
  
4. 事業の内容
  - 別紙の通り
  
5. 事業成果について
  - (1) 事業目的の達成について

私たちは、当面の事業目的を下記のように設定しています。

    - ①子育てをしている人たちに、一元的に情報を提供すること

実行委員同士、お互いの活動に対する理解が深まったことで、自活動以外の子育てサービスにつなげられるようになりました。具体的な一例を挙げると、フェスティバル当日予約なしで17組の相談がありました。会場内にいる実行委員の適任者につなぐことができ、専門的な対応ができました。
    - ②子育て支援団体同士のコミュニケーションを図ること

実行委員の役割りを細分化し、係りごとの打合せ回数を増やしたことで、より連携が図りやすくなったように思います。
  
  - (2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載してください。

    - ①子育てをしている人たちに、一元的に情報を提供すること

フェスティバル来場者のアンケートや、当日寄せられた声からすると、このフェスティバルに毎回きてくださっている保護者は、高い評価（満足）をくださっているようです。開場すぐに相談コーナーにいらっしゃる方もいらっしゃ

いました。

今回は特に父親と子どもとで参加している親子づれが多く、「父親が参加できるコーナーがない。」とのお声がありました。

②子育て支援団体同士のコミュニケーションを図ること

所管課である子育て支援課の働きかけもあり、他の行政担当者が積極的に参画してくださったのが大きな成果です。役割りを担う中で、コミュニケーションの機会も増え、ネットワークの広がりを予感しました。

一方、活動を継続していくための仕組みづくりは大きな課題です。

6. 今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたいのかを記載してください。

子育て支援団体のネットワークづくりや、地域の子育て力向上という事業目的は、一朝一夕にかなうものではありません。事業内容を見直しつつ継続的に実施することが肝要です。

事業実施にあたっては、その資金確保も大切な活動です。今年度は新型インフルエンザの影響があったにもかかわらず多くの企業から協賛金をいただきましたので、その実績を活かして事業展開していきたいと考えます。

## 活動状況報告書／4. 事業の実施内容【別紙】

日程(時間)	会議	内容
4/17 16:00-17:00	役員打ち合わせ	前年までの経緯確認
5/18 16:30-17:30	事務局打ち合わせ	事務局体制の確認
6/2 13:30-14:30	第1回 事務局会議	実行委員体制 分担すべき役割 スケジュール、ボランティア養成講座の方向性
6/2 15:30-17:00	第1回 運営委員会	実行委員体制の確認 分担すべき役割の整理 スケジュール、ボランティア養成講座の方向性の確認
7/1 13:30-15:00	第1回 実行委員会	子育てフェスティバルの体制について 年間タイムスケジュールについて 子育て支援者のための講座について
7/29 13:30~16:30	第2回 事務局会議	子育てフェスティバルの体制について 年間タイムスケジュールについて 子育てフェスティバルパンフレットについて 役割分担について 22年度協働事業の提案について
8/3 10:00-10:30	事務局打ち合わせ	子育て支援者のための講座について
9/18 14:00-16:30	第3回 事務局(子育て支援課)	第2回 運営委員会、実行委員会準備
9/25 14:00-15:00	第2回 運営委員会(ふれあい22)	次回実行委員会準備
9/25 15:00-17:30	第2回 実行委員会(ふれあい22)	出展内容確認、養成講座案検討、12月実行委員会に向けて
10月～	各担当国会議	担当ごと、部屋ごとの打ち合わせを随時行い、事務局へ報告。
11/12 9:00-12:00	事務局打合せ	養成講座準備
11/25 13:30-16:15	養成講座	内容:松戸市の状況、支援者の心構え 参加者数:33名
11/26 13:00-16:15	養成講座	内容:小児の病気について、乳児の遊び 参加者数:53名、聖徳大学3年生43名と合同受講
11/28 9:00-12:00	養成講座	内容:子どものための救急講習 参加者数:16名、聖徳大学3年生22名と合同受講
11/30 15:00-17:00	第3回 実行委員会(ふれあい)	各担当・各部屋ごとの準備状況報告、調整
1/8 10:00-13:00	事務局打合せ	次回実行委員会準備
1/19 15:00-17:00	第4回 実行委員会(ふれあい)	各フロアごとに打合せ、メインイベント練習、準備状況最終確認、タイムテーブル・参加者アンケート作成
2/16 13:30-15:30	事務局打合せ(児童館)	前日準備、当日確認、(集合・受付・スタッフサロン・お弁当・搬入・駐車場・バス運行確認・記録)
2/27 14:00-16:30	前日準備	搬入、備品配置、飾り付け
2/28 8:00-17:00	当日	
3/23 16:00-17:30	第5回 実行委員会	反省会

# 収支決算書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	参加費	¥ 230,000	¥ -	¥ -230,000	
	協賛金	¥ 150,000	¥ 290,000	¥ 140,000	
	助成金	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	
	利息	0	164	¥ 164	
	自己資金合計額 (a)	¥ 480,000	¥ 390,164	¥ -89,836	/
	労力換算額 (b)	¥ 255,000	¥ 114,000	¥ -141,000	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 500,000	¥ 500,000	¥ -	精算額
資金合計額 (d) (a+c)		¥ 980,000	¥ 890,164	/	/

## 【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の 交付対象経費	1.印刷代	¥ 500,000	¥ 385,359	¥ 114,641	
	2.講師謝金	¥ 180,000	¥ 82,000	¥ 98,000	
	3.消耗品費	¥ 100,000	¥ 221,214	¥ -121,214	
	4.通信費	¥ 50,000	¥ 13,910	¥ 36,090	
	5.保険料	¥ 30,000	¥ 9,000	¥ 21,000	
	6.委託料	¥ 60,000	¥ 50,925	¥ 9,075	
	7.支払手数料	¥ -	¥ 2,058	¥ -2,058	
			¥ -		
			¥ -		
			¥ -		
	対象となる経費合計額 (e)	¥ 920,000	¥ 764,466	¥ 155,534	/
その他経費	8.交通費	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ -	
	9.会議費	¥ 20,000	¥ 75,898	¥ -55,898	
	10.備品	¥ -	¥ 29,800	¥ -29,800	
	予備費	¥ 20,000	¥ -	¥ 20,000	
	その他経費合計額 (f)	¥ 60,000	¥ 125,698	¥ -65,698	/
事業費(g) (e+f)		¥ 980,000	¥ 890,164	¥ 89,836	/

### 【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内 ✓
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。✓
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。✓

精算額 ¥ -

団体名 松戸子育てフェスティバル実行委員会  
代表者氏名 委員長 森田 等



## 収支内訳書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
協賛金	¥ 290,000	40,000*1社、 20,000*3社、 10,000*19社	チラシ、パンフレット等掲載料金
助成金	¥ 100,000		県社協地域福祉フォーラム
利息	¥ 164		普通預金口座利息
自己資金合計額	¥ 390,164		
市負担金額	¥ 500,000		
収入合計額	¥ 890,164		

## 【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の 交付対象 経費	1 印刷代	¥ 385,359	詳細別紙	チラシカラー両面9000部、ポスターカ ラー400部、パンフカラー40頁3000部、報 告書カラー1,000部、封筒2,000部
	2 講師謝金	¥ 82,000	詳細別紙	養成講座講師4名、フェスティバル講師1 名
	3 消耗品費	¥ 221,214	詳細別紙	詳細別紙
	4 通信費	¥ 13,910	詳細別紙	協賛企業宛て郵送切手代（案内状、請求 書、領収書、チラシ、パンフ、報告書 等）
	5 保険料	¥ 9,000	詳細別紙	フェスティバル当日来場者用傷害保険
	6 委託料	¥ 50,925	詳細別紙	駐車場3か所（八柱駅、牧の原小、会場） の警備委託
	7 支払手数料	¥ 2,058	詳細別紙	振込手数料
対象となる経費合計額	¥ 764,466			
その他 経費	8 交通費	¥ 20,000	1,000*20人	聖徳大学ボランティア交通費
	9 会議費	¥ 75,898	弁当500*20個、反省 会茶菓65,898	ボランティア弁当代、反省会参加者約 300名分
	10 備品	¥ 29,800		館内掲示用ラミネーター
	その他経費合計額	¥ 125,698		
支出合計額	¥ 890,164			

# 活動状況報告書

1. 事業名称 小中学生向け 金銭教育事業

2. 実施主体

■ 団体名：NPO法人 おかねの楽校

■ 事業担当課：生涯教育本部 企画管理室

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

小学生向け金銭教育講座『おかねの楽校』プログラムの実施

“おこづかいゲーム”の実施

保護者向けセミナー「おこづかいのあげ方」の実施

参加者募集のチラシの作成・印刷

■ 担当課の役割

金銭教育出張授業実施のために、学校への提案・調整

“おこづかいゲーム”、“保護者向けセミナー”のための会場確保

広報支援（チラシの学校への配布）

4. 事業の内容

小学生向け金銭教育講座『おかねの楽校』

日付	作業内容
4月4日～17日	事業企画打ち合わせ・チラシ作成・配布依頼・参加受付
4月25日	第1回おかねの楽校（おこづかいゲーム）
4月25日～5月2日	第2回内容確認・修正、資料等作成
5月9日	第2回おかねの楽校（本当に欲しいものは何？）
5月9日～15日	第3回内容確認・修正、資料等作成
5月16日	第3回おかねの楽校（夢貯金箱を作る、利息について）
5月16日～6月5日	第4回内容確認・修正、資料等作成
6月6日	第4回おかねの楽校（お店の仕組みを知ろう）
6月6日～19日	第5回内容確認・修正、資料等作成
6月20日	第5回おかねの楽校（屋台の計画①）
6月29日～7月3日	第6回内容確認・修正、資料等作成
7月4日	第6回おかねの楽校（屋台の計画②）
7月4日～17日	第7回内容確認・修正、資料等作成
7月18日	第7回おかねの楽校（仕入れと準備）
7月18日～8月7日	第8回内容確認・修正、資料等作成
8月1日	臨時おかねの楽校（射的チーム 準備）
8月8日	第8回おかねの楽校（屋台本番1日目）、

8月9日	第9回おかねの楽校（屋台本番2日目）
8月10日	屋台片づけ
8月10日～21日	第10回内容確認・修正、資料等作成
8月22日	第10回おかねの楽校（屋台の決算）
8月22日～25日	第11回内容確認・修正、資料等作成
8月26日	第11回おかねの楽校（お金をためる（通帳を作る））
8月26日～9月25日	第12回内容確認・修正、資料等作成
9月26日	第12回おかねの楽校（寄付をしよう）
9月26日～10月16日	第13回内容確認・修正、資料等作成
10月17日	第13回おかねの楽校（経済って何？）
10月17日～30日	第14回内容確認・修正、資料等作成
10月31日	第14回おかねの楽校（株ってどんなもの？）
10月31日～11月13日	第15回内容確認・修正、資料等作成
11月14日	第15回おかねの楽校（税金って何？）
11月14日～27日	第16回内容確認・修正、資料等作成
11月28日	第16回おかねの楽校（将来の仕事を考えよう）
11月28日～12月11日	第17回内容確認・修正、資料等作成
12月12日	第17回おかねの楽校（自分の将来を考えよう）
12月12日～1月8日	第3回内容確認・修正、資料等作成
1月9日	第3回おかねの楽校（自分の夢を実現しよう）

おこづかいゲーム・保護者向けセミナー

日付	作業内容
7月1日～22日	チラシ作成・配布依頼・参加受付・備品等準備
7月4日～24日	セミナー内容検討・資料作成
7月25日	おこづかいゲーム・保護者向けセミナーの開催
11月20日～12月18日	チラシ作成・配布依頼・参加受付・備品等準備
12月19日	おこづかいゲーム・保護者向けセミナーの開催
3月1日～3月26日	チラシ作成・配布依頼・参加受付・備品等準備
3月27日	おこづかいゲーム・保護者向けセミナーの開催

出張授業PR（学校向けアンケート調査）

日付	作業内容
10月21日～11月22日	企画・アンケート内容検討・実施依頼
12月11日	アンケート結果受領



## スタッフ・アシスタントの増員・レベルアップ

日付	作業内容
4月3日～4月26日	アシスタントにスタッフへの登録変更を打診、HP上でスタッフ募集
4月26日	アシスタント→スタッフへの変更1名 新規スタッフ応募1名
4月～12月	おかねの楽校の打合せ、講座にてOJTを実施

### 5. 事業成果について

#### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した成果目標が、どの程度達成されたのかを記載してください。

『おかねの楽校』、おこづかいゲーム、保護者向けセミナーでは、アンケート結果からも十分な成果があったと認識しています。

スタッフの増強については、出張授業の実施が不透明だったこともあり、4月に実施したにとどまりました。

出前授業の展望は開けませんでした。学校向けアンケートによって、学校に実態として、希望はあるが時間が取れないということが分かったことは成果の一つともとれると考えます。放課後教室への提案など、正規の授業以外のところで提案する必要があると考えます。

#### (2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載してください。

5年の活動により、活動の内容もスタッフのスキルも十分なものになってきたと思います。そのため、イベント等に参加してくれた子どもや親には、満足をいただいているようです。

今よりも多くの子どもたちに金銭教育を受ける機会を作ることを勧めていきたいと思えます。

資金についても、市の助成ではなく、自己完結で活動できるようにしていくことが必要です。

### 6. 今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたいのかを記載してください。

少しずつですが実績を積んできたことにより、おかねの学校としての知名度は上がってきました。2009年度も朝日こども新聞、毎日こども新聞、日本経済新聞、毎日新聞2回、北海道新聞の取材を受け、記事になりました。また、関東経済産業局取材の起業家事業の懇談会にも呼ばれました。

このことを十分に生かして、金銭教育を広めていきたいと思っています。  
内容も他の同様の団体が行っているのより充実していると思うので、バリエーションを広くして、短い時間でも子どもがお金や仕事のことについて身に着けてもらえるものを作っていくようにしたいと考えます。

柏市や千葉市では、市が起業家育成イベント等を行っています。松戸市でも行えるように働きかけていきたいと思っています。



# 収支決算書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	『おかねの楽校』参加費	¥ 480,000	¥ 342,000	¥ -138,000	
	ゲーム・セミナー参加費	¥ 90,000	¥ 90,000	¥ -	
	事業者供出金	¥ 346,600	¥ 377,382	¥ 30,782	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 916,600	¥ 809,382	¥ -107,218	/
	労力換算額 (b)	¥ 258,000	¥ 112,500	¥ -145,500	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 500,000	¥ 500,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 1,416,600	¥1,309,382		/

## 【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考	
負担金の交付対象経費	『おかねの楽校』			¥ -		
	講師代	¥ 315,000	¥ 315,000	¥ -		
	アシスタント謝礼金	¥ 127,600	¥ 321,800	¥ -194,200		
	消耗品	¥ 25,000	¥ 25,112	¥ -112		
	会議資料	¥ 6,600	¥ 10,000	¥ -3,400		
	賃借料	¥ 50,000	¥ 52,710	¥ -2,710	レンタル料・会場費	
	通信費	¥ 24,000	¥ 26,700	¥ -2,700		
	チラシ印刷費	¥ 150,000	¥ 350,000	¥ -200,000	ゲーム・セミナーも含む	
	出張授業			¥ -		
	プレゼンテーション資料印刷	¥ 200,000	¥ -	¥ 200,000		
	出張授業資料作成・印刷	¥ 30,000	¥ -	¥ 30,000		
	出張授業講師料	¥ 21,000	¥ -	¥ 21,000		
	おこづかいゲーム			¥ -		
	講師・アシスタント費	¥ 132,000	¥ 125,400	¥ 6,600		
	消耗品費	¥ 8,000		¥ 8,000		
	保護者向けセミナー			¥ -		
	講師・アシスタント費	¥ 266,400	¥ 63,000	¥ 203,400		
	消耗品費	¥ 6,000		¥ 6,000		
	スタッフ・アシスタント増員 レベルアップ			¥ -		
	スタッフ・アシスタント募集費用	¥ 2,000		¥ 2,000		
	スタッフ・アシスタント教育費	¥ 3,000		¥ 3,000		
	行事保険料	¥ 50,000	¥ 19,660	¥ 30,340		
	対象となる経費合計額 (e)	¥ 1,416,600	¥1,309,382	¥ 107,218	/	
	その他経費				¥ -	
					¥ -	
					¥ -	
		その他経費合計額 (f)	¥ -	¥ -	¥ -	/
		事業費(g) (e+f)	¥ 1,416,600	¥1,309,382	¥ 107,218	/

### 【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額	¥	-
-----	---	---

団体名  
代表者氏名

NPO法人 おかねの楽校  
理事長 安江 巧



## 収支内訳書

## 【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
『おかねの楽校』参加費	¥ 342,000	18,000*19人	
ゲーム・セミナー参加費	¥ 90,000	1,000*90人	7月42人、12月31人。3月17人
事業者拠出金	¥ 377,382		
自己資金合計額	¥ 809,382		
市負担金額	¥ 500,000		
収入合計額	¥ 1,309,382		

## 【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
負担金の 交付対象 経費	1 講師代	¥ 441,000	おかねの楽校315,000円、ゲーム63,000円、セミナー63,000円
	2 アシスタント謝礼金	¥ 384,200	おかねの楽校321,800円、ゲーム62,400円
	3 消耗品費	¥ 25,112	名札、画用紙、賞状用紙 等
	4 資料印刷	¥ 10,000	おかねの楽校参加者用資料、会議資料
	5 賃借料	¥ 52,710	オオイ文化センター、稔台市民センター
	6 通信費	¥ 26,700	切手16,100円、宅配便10,600円
	7 印刷費	¥ 350,000	@5円*2万枚、@4円*5.5万枚
	8 行事保険料	¥ 19,660	傷害16,500円、賠償責任3,160円
対象となる経費合計額	¥ 1,309,382		
その他 経費			
	その他経費合計額	¥ -	
支出合計額	¥ 1,309,382		